京城日報　十一日夕刊

○獨軍逆襲部隊粉碎

ヘーグ元帥軍の大捷

八日發表せるヘーグ元帥の報告に曰く我が軍はイープルの南方に新戰線を組織し之を堅固にせりオースタヴアーン東南方及び東北方並にメッシネ東方に於ける獨軍の逆襲は大損害を被りて我が歩兵隊に擊退さるゝか又は歩兵隊に依りて粉碎されたり捕虜の數は今や六千四百に達し中百二十三名は將校なり(倫敦電報)

○ヘーグ軍大捷別報

ヘーグ元帥の報告に曰く敵は八日午後七時激烈なる準備砲擊の後イープル南方の新戰線殆んど全體に對し強力なる逆襲を行ひ來れり敵の勢力は新手の各師團より成り非常の決心を以て攻め寄せたるも我が砲兵隊機關砲隊の猛烈なるに依り隨處に擊退せられたり戰鬪はメッシネの東方クラインジルベク附近水道の北方に於て特に激烈を極めたり敵の攻擊は夜半迄に全線に亙り甚大の損害を與へて完全に擊退し盡したり(倫敦電報)

○露國軍隊叛亂す

陸相解散を命ず

露都來電＝第七屯軍所屬の四個聯隊叛亂し其の中の一個聯隊にては將校全部を捕縛せり陸軍大臣は即時該聯隊の解散と主謀者の軍法會議附審を命令せり(倫敦電報)

○墺匈國分裂か

一部獨逸に併合されん

華盛頓來電＝墺匈國の分裂は到底避く可らざると共に或は一部獨逸に併合せられんとし頗る憂ふべき形勢に在りと(東京電報)

○藤田總監通過　來鮮中なりし陸軍々醫總監藤田嗣章氏は十日夜出帆連絡船高麗丸にて歸東の途に就けり(釜山特電)

○望月血淸所長東上　內務省所管釜山血淸製造所長望月龍三氏は十日午前出港連絡船高麗丸にて東上せり(釜山特電)

○露貨益々暴落

露貨の相場は益々暴落し八日百圓に對し二百留即ち半額に下り九日三百五留即ち一留三十二錢に大暴落を爲したるが露國現下の軍需財政外交及び政治界を觀察せば尙ほ益々下落す可しと豫定せられ前途暗澹たり(哈爾賓特電)

◎辭令傳達式

總督府にては十一日午前九時三十分政務總監室に於て過般陞等陞敍の御沙汰ありたる小原、持地、鈴木三長官其の他に對し辭令傳達式を擧げ出張政務總監より其れ〲傳達する處ありたり

◎司獄會計會同

總督府にては裁判所監獄會計主任を召集し十三日より十七日まで五日間總督府第二會議室に於て裁判所監獄會計主任會同を開催の事となれり

◎遞信局三會議

遞信局に於て管下主要局長及び技師を召集せし事は既報の如くなるが右は來る廿六日より約十日間に亙り四管掌郵便局長及び高等官局長會議並に管掌郵便局工務係長會議及び海事出張所長會議を開會するため既に各課にては會議提出諮問案等の準備を急ぎ居れり

◎關稅調査委員

持地遞信局長官は六日附關稅調査委員を免ぜられ新に鈴木度支部長官宇佐美土木局長關稅調査委員に任命さる

◎私設無線電信委員長

遞信局長官持地六三郎氏は私設無線電信通信從事者資格檢定委員長を命ぜられたり

◎鐵貨制限緩和

內地行噸扱ひ受託

朝鮮鐵道局にては去月二十五日以來內地行噸扱貨物の受託發送數量を一驛一日二噸以內の範圍に於て中間驛又は終急車輛となすべき制限を定めたるが本月十一日より該制限を左の如く改正實施することゝなりたり

一、九州線及び下關門司行噸扱貨物の受託發送數量には制限を付せず

二、本州線幡生以東行噸扱貨物の受託發送數量は一驛一日二噸以內とす

◎伯國禁電緩和

ブラジル國に宛つる電報は經由線の如何を問はず隱語の使用を禁じゐたるが今回左記の隱語書は之れを使用して差支へなき事となれり

(一)エビーシー第五版(二)ニスコツ第十版(三)リーバース(四)ウエスタンユニオン(五)ベントリース(六)アルームホールス(七)マイナース(八)リヴアサイド第五版

◎軍事郵便鮮通過

從來滿洲並に支那山東省と內地間を往復する軍事郵便は朝鮮通過にあらざりしもの今後朝鮮通過に改められたる旨報ずるものあれど右は全く虛說にて從來共朝鮮通過發著しつゝあり唯最近までは郵便車以外乃ち小荷物車等に託送されゐたるものが今回郵便車託送に變じたるに過ぎず又前記の如き誤報の出所は右の變更より誤まりしならん

◎各地の旱害

京畿黃海兩道の旱害は日を逐ふて激[illegible]苗ならんとする傾向あり若し茲十日も降雨を見ずば實に由々しき大事を惹起せんとしつゝあり殊に開城郡光德面丼に黃海道延白郡の如きは最も甚しく稻苗の枯死算なく到底茲に用水十分となるも自郡並に自面の稻苗にては其の挿秧不可能の狀態となり居れり其他の各郡も農民は晝夜を分たず井水若くば灌漑の貯水を苗代に灌水し只管降雨を待ち空しく挿秧期の經過を送らんとしつゝあり尙ほ東拓の京城出張所にては京畿黃海兩道の一部所有地に對しては旱害を見越し畑地苗代を獎勵したるが畑地苗代の育生苗は之れを水田苗代の稻苗に比し旱害に對する抵抗頗る強しと

□李王東京御日程

御還京は二十一日と決定す

李王殿下東京御滯在中の日程は豫て宮內省にて熟議中の處左の如く決定相成りたり因に殿下は十九日を以て御退京の豫定なりしも[illegible]せらるゝ事となりたれば御退京も自然一日遲れて二十一日となれり

十二日　東京御到著
十三日　御休養
十四日　參內、賢所御參拜、東宮御所御參訪
十五日　午前各皇族御訪問、正午御陪食、觀樂御覽
十六日　近衞第二聯隊御訪問、午後赤坂離宮にて各皇族[illegible]
十七日　晩餐王世子邸
十八日　御休養
十九日　李王殿下霞ヶ關離宮にて各皇族御招待
二十日　御暇乞の爲め參內、午餐御陪食、吹上御苑打毬御覽
二十一日　御退京

◎秋山大將檢閱

秋山軍司令官は南鮮部隊檢閱の爲め松井高級參謀、古城副官、入道二等主計正、有働一等軍醫等を從へ十一日水原守備隊の檢閱を遂げ大田に向ひたるが今後の檢閱日程左の如し

▲十二日大田分隊▲十三日公州守備隊▲十四日全州守備隊▲十六十七兩日光州守備隊

因に十八日午前六時三十分木浦驛發列車に搭乘し同日午後八時五十分龍山驛著歸任の筈

◎荒井氏へ謝狀

東京にて病疾加養中なる荒井前度支部長官に對し總督府度支部高等官以下同職員は十一日氏が在職中の指導提撕に對し鄭重なる謝恩の意を兼ね病氣の全快を祈る旨の一面をなしたり

◎東拓の新參事

總督府屬內務部勤務輪千光久並に道書記平安北道寧邊勤上田文三郎の兩氏は今回參事として東拓に入社し輪千氏は總務部計算課に又上田氏は事業部殖產課勤務となりたり

◎製陶發起人來鮮

[illegible]陶家にして朝鮮製陶發起者たる松風[illegible]の連絡船高麗丸にて來釜中の[illegible]旅館に同氏を訪ひたる[illegible]に製陶會社設立の[illegible]の同地八千坪の[illegible]に充てんとする[illegible]に關する要件の[illegible]務すべく同日午後[illegible]て京城に赴きたり

◎新聞社長追悼會

[illegible]京に於て全國新聞[illegible]催せられ各地[illegible]するを機とし京城[illegible]社主[illegible]田利作氏發起となり十六日午前十時より[illegible]に於て今日迄に物故せる[illegible]社長二十九氏の追悼會を[illegible]

◎橫斷航路

[illegible]地移入を主たる目的とし[illegible]日本との橫斷航路[illegible]北鮮貿易會社[illegible]地は昨今牛[illegible]

◎連絡船釜山發著改正

[illegible]連絡船釜山發著[illegible]左の通り變更されたり

▲六月十一日　午前[illegible]　午後[illegible]
▲六月十二日　午前[illegible]　午後[illegible]
四日十三日以降は[illegible]

◎私立醫專開校式

[illegible]

◎戸別割督促

[illegible]此の未納金額一萬三[illegible]七十錢にして前年[illegible]七百五十七圓七十錢[illegible]七十七通未納金[illegible]數に於て七百五十七[illegible]て六百十四圓の減少[illegible]擧げたる譯なり

◎延平島の石首漁

黃海道に於ける本年の石首漁の模樣[illegible]なりしより出漁[illegible]安北道方面に轉漁し[illegible]鮮人漁船四百二十艘[illegible]乃至千圓鮮人漁船[illegible]乃至八百圓に上り[illegible]中綻網及び刺網は千[illegible]漁撈する爲め漁獲す[illegible]し模樣なりと朝鮮水[illegible]より東部に報告あり

□光州より

九日午後十一時　三笑生

[illegible]社長代[illegible]局落成式に、[illegible]爲め、九日午前八[illegible]發車光州に向ひ申[illegible]寄れば、薰風渡る綠[illegible]滴りて、小生は初[illegible]淸水、碧く滿ゆる濃[illegible]の爽快なるは無之[illegible]たるを、又なく欣快[illegible]の進むに從つて、[illegible]水一滴もなく枯渇[illegible]半ば焦げたる、泰麥の[illegible]なく立揚る、未だ[illegible]時期にはあらざれど[illegible]て同情に堪へず、補[illegible]來らんことを、只管心待致し。大田驛に到れば橫瀨、麻生の兩支局長は、小生を驛にまで出迎へ、殊に麻生君は、光州まで同車すべしとのことにて、圖らずも談敵を得て大に寂寥を減じ候。大田驛よりは乘客頓に減少し二等客は西洋人と合せて僅に六人、吾等は大に脚を伸すを得たるも、蒸すが如き車中の暑さには、流石の小生も往生致し西洋人等も上衣を脫ぎ棄てシャツ一枚と相成り候。江景にて、吾等の乘れる一五八號列車連絡の貨車二臺脫線し、復舊迄には二時間を要する旨、車掌より宣せられたる時は、聊か失望致候。幸に死傷者もなく、約一時間にして復舊運轉するに至りたるは不幸中の幸也。江景を出づれば、流石は三南沃野也。京釜沿線に比すれば、春麥相當に稔り、水田にも多少の水ありて、農夫は挿秧の準備に忙し。然し降雨を待てるは、何れも同樣に見受けられ候。列車の長城驛を出でゝ約十分を走りたるかと思ひし頃、夕闇に紛れて石を投じたる者あり、二等室の窓硝子は、轟然として、約五寸の穴を穿ちたり。聞けば此地方にては、往々石を投ずるものあり、軌道に石を敷くものあり、概ね鮮人無智の爲す所なりと某氏は語り候。列車は二時間餘を遲れて午後九時二十分松汀里に到著す。吾等は直に自動車にて光松街道を突破し、無事東雲旅館に投宿致候匆々不一

大連より啓上

特派員

▲大連港の激忙　近來大連港の繫留船は非常のものにして、時に數隻以上を算し[illegible]有樣に有之候。其の大規模の大連港も聊か[illegible]許り埠頭に於ては毎[illegible]漸くにして其の捌[illegible]

▲滿鐵員增給　滿鐵會社員は六月一日より社員全部に對し增俸を行ひ申候、右は物價騰貴の今日幾分其の均衡を斟酌する意味も可有之候へ共、他の一面に於ては近來內地の所謂成金熱が滿洲一帶にまで波及し來り、曾ては最も社員優遇を以て聞こえたる滿鐵會社が、今や反對に最も社員冷遇の會社と批評さるゝ迄に成り、多數社員中には外界の誘惑の爲め自然滿鐵を辭して他へ就職するものも出來致候、此の如きは滿鐵として最も遺憾とする處なるべく社員も亦爲めに方向を誤るが如きもの出來致すやも計り難きを以て流石に萬事消極主義の滿鐵總裁も幾分此の邊に心附き借てこそ這般の增俸を斷行したる次第ならんと存せられ候

▲苦力問題の警戒　然るに又他の方面に於ては苦力問題に就て少なからず苦心致し居る模樣に有之候即ち埠頭其他の苦力需要は益々多大なるに拘はらず苦力は近來各方面よりの募集により次第に減少し來り滿洲名物の苦力が今や殆んど供給困難を告げんとする有樣に有之候、斯の如きは數年前まで何人も豫想せざりし處にして云はゞ不思議の現象に近きものなるが、其の裏面には歐洲戰爭と深き關係あること勿論にして記者は其消息を知悉致居候へ共國際上明記することを憚り、唯炯眼なる讀者の御推定に任すのみに有之候、兎に角大連港頭に於て荷役の苦力が缺乏するが如き實に思ひ設けざりし處にて、埠頭事務所と福昌公司は其の補充策に苦心罷在候處尙ほ名案無之、或は朝鮮勞働者の招來策を必要とする時代到來致すやも知る可らず

仁川

[illegible]日著任事務引繼の上原氏は十五日赴任すべしと▲會議所役員會　仁川商業會議所にては十二日午後三時三十分より役員會を開會選擧に關する件を附議すべし

江原　春川

▲畜產同業組合狀況　春川畜產同業組合に於ける近來の新事業たる鞍具の改良及び皮革改良乾燥等は其れ〲部分的試驗を行ひ著々進行中なり尙ほ本年四月調査に係る本郡畜牛數は七千五百頭にして之れを前年度に對照する時は約八百頭の增殖なるも現在一萬二千戸の農家戸數に比較すれば今尙ほ不足を告ぐるを以て之等農家にして耕牛を所持せざる者に對しては組合指導監督の下に各方面に牛契を設けしめ努めて耕牛の購入方を斡旋しつゝあるが其の成績極めて良好なり尙ほ一面本道畜牛の賣價益騰り同時に移出日を逐うて盛むなるを以て畜產界の將來は大に多忙と謂ふべし▲憲兵轉出　大正三年以來春川憲兵分隊に勤務し精勵の聞へ高かりし大堀憲兵伍長は今回[illegible]憲兵分隊に轉勤を命ぜられ多數官民の見送を受け出發したるが後任は同分隊附水口上等兵伍長に任じたり▲二部長母堂逝去　江原道第二部長宮崎又治郞氏は母堂逝去の訃に接し約二週間の請暇を以て去る五日鄕里三重縣へ向け歸省せり

咸北　淸津

▲在鄕軍人會　國境慶興郡管內雄基西水羅慶興各地には在鄕軍人數十名在住せるより若林慶興分隊長等主となる軍人分會設置の計畫ありしが諸準備整ひ本月一日雄基小學校に於て其發會式を擧行せる折柄國境巡視中なりし浦野警務部長も臨席し盛會なりし▲豆作大に增[illegible]額は著しく增加せん豫想なり▲平春材出廻り不況　平春材の淸津地方出廻りは本年降雨少くして平春河水著しく減退せる爲め筏の流下困難にして捗々しからず數日の豪雨を見るに非らざれば出廻盛況を見る事能はざるべしと▲黑鉛鑛產百萬圓　城津郡の黑鉛は品質純良にして採鑛精鍊簡單なるを以て利益莫大なれば斯業は益發展しつゝあるが本年は新に起業のもの五鑛區あり合計八鑛にして出願中のものを合すれば七八十鑛區の多きに達するが大正五年の生產額は二十萬圓に達せるを以て本年は五十萬圓以上の生產を見る豫定なりと尙ほ本年は黑鉛の外鐵及び石炭をも開掘せんとするものあり目下事業著手の計畫中なるが此等を合すれば本年城津郡の鑛產額は百萬圓以上にも達すべしと

忠南　大田

▲將校配屬　岡山步兵第二十二聯隊附步兵中尉上村長良、同少尉岡崎繁雄、岡山步兵第五十四聯隊附步兵中尉財津孝知、步兵少尉田中幸藏、同堀場義彰の五氏は今般大田步兵第七十九聯隊附に補せられ不日來任の筈尙ほ所屬中隊は著任の上其々決定すべしと▲候補生配屬　今般中央幼年學校を卒業したる士官候補生河瀨繁太、太田淸一、緒方貞の三氏は大田步兵第七十九聯隊附を命ぜられ十一日午前八時入隊す▲經理主任會議出席　來る二十一日より四日間龍山軍司令部に於て經理主任會議開會に付大田聯隊よりは經理主任主座小寺中佐大里高級主計出席二十日より出張の筈

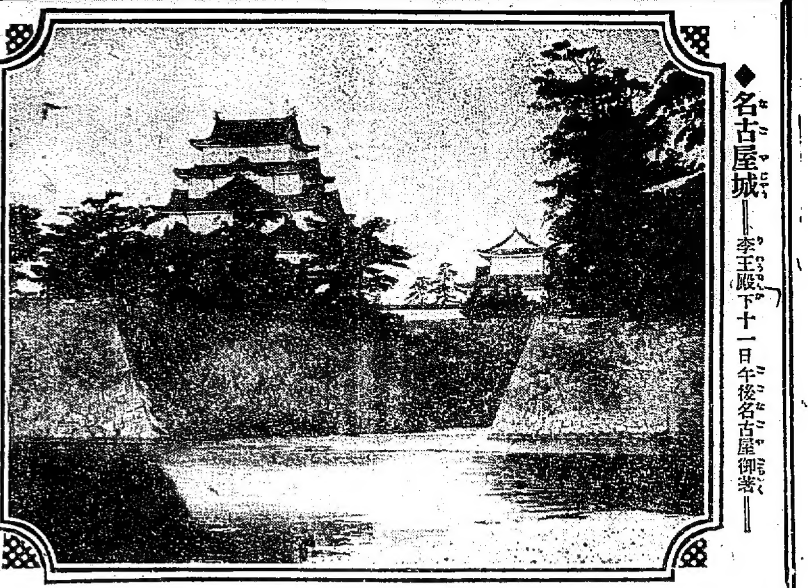
人事消息

▲米澤尙三氏(牧師)　十日夜入京ホテルへ
▲高橋常太郞氏(義州憲兵隊副官)　十一日朝入京
▲岡野貞民(工學博士)　十一日朝退京
京山本旅館へ
▲吉野靜至氏(江陵慈惠醫院長)　同上
▲神野憲兵中尉(咸北警務部副官)　十日夜入京
光館へ
▲赤澤憲兵中尉(江原同上)　同上
▲馬場憲兵中尉(全南同上)　同上
▲福田憲兵中尉(平南同上)　同上
▲高瀨憲兵中尉(黃海同上)　同上
▲大井憲兵中尉(慶南同上)　同山本旅館へ
▲中山憲兵中尉(慶北同上)　同上
▲野中憲兵中尉(忠北同上)　同上
▲背田憲兵中尉(全北同上)　同淸光館へ
▲李允用男　十日夜釜山より歸京
▲吉田藤吉氏(元代議士)　十一日夜入京十一日朝平壤へ
▲若杉寬三郞氏(釜山府尹)　十一日朝退京赴任
▲川崎技師(農商工部)　渡米の爲め十一日朝南大門出發
▲ハリス博士(英國監督)　十一日朝入京
▲京城高等普通學校生徒六十名　十日夜開城より歸京
▲本間孝義氏(土木技師)　十一日附東京千葉埼玉栃木北海道新潟各地へ出張を命ぜらる

◎正誤　十日夕刊一面「富川郡の旱害」中地表より十尺五寸乾燥は一尺五寸、今後十圓餘降雨云々は十日餘の何れも誤植

[illegible]

◆名古屋城—李王殿下十一日午後名古屋御著—



内地官民の熱誠なる歡迎

殊の外沿道の風色を賞せらる 宮中御苑にて蹴鞠の競技を御覧

十日舞子より其の筋に達せる電報に依れば李王殿下には益々御機嫌麗はしく各沿道の風景等に就き[illegible]あり又御自身に於かせられても[illegible]内地官民の歡迎[illegible]遊ばされ[illegible]常に盛んにして殿下にも極めて滿足を感じ居らるゝ由なるが東京御滯在は二十日御退京の事となり又た李王殿下には十二日午後五時東京御著の筈なれば嘗て東京御歡待の爲め種々の御催ほしあるは勿論なるが來る十八日には宮中に於て午餐會に臨ませられたるが特に殿下の爲御催ほしの蹴鞠競技を御覧ある可し

強者と弱者の腕較べ

列强は此戰爭に因り更に民族◇◇衛生に全力を注ぐに相違無い◇◇

『民族衛生研究の一方法』……宮入理學博士講演の一 宮入慶之助氏は『民族衛生研究の一方法』と題し[illegible]

弱者を保護し救濟する事は人間の美徳で[illegible]要がある弱者を救濟保護する事は人道上惡い事ではないが[illegible]相容れない譯で[illegible]必要から云へば貧弱[illegible]抑へ付けて行く必要がある[illegible]斯くの如き説は十九世紀の末葉に於て獨逸人プレッツ氏[illegible]シッセングネー即ち民族衛生である、近代の文明は醫學の進歩と社會共濟事業及び慈善事業又著しく進歩發達[illegible]結果は羸弱なる者も生存し[illegible]自己の家族を養ふ[illegible]なる者も又其の生命を[illegible]云ふ有樣である故に其[illegible]

民族競爭の時代に在りては此の弱者の保護も餘程考へて見なければ成らなく[illegible]貧弱なる人民を抑へ[illegible]

珍らしい朝鮮の鳥 (五)

◇◇◇◇朝鮮で始めて捕獲した鷲◇◇◇◇

—京城高等普通學校教諭森爲三氏稿—

◆ヒゲワシ 頭はハゲワシの樣に天鵞絨樣の綿羽で被はれハゲワシの丸はて居る部分に黑色の長い羽毛が毛冠狀に生ねて居る、翼羽及び尾羽は黑色で羽軸に黑と白との斑がある、背は黑褐と白との斑で腹は赤褐である鼻孔は長い剛毛で被はれまた嘴の下にはヒゲワシの名の如く剛毛が顋鬚の樣に總狀に嘴よりも前に出て居る、本種は從來滿洲に居る事は知れて居りしも朝鮮に迄も棲むか否かは問題であつたが昨年十二月に江原道三防附近の高山で初めて獲られて朝鮮にも棲むことがわかつたのである、此の鷲は高山性であつてハゲワシの樣に屍肉を食として居る、然し飢に迫ると小動物を襲ふことがある。姿を見ると猛悍の樣であるが割合臆病であるとの事である、其の鳴聲は弱くて不平を訴ふる樣で斷續するとドレッサーは云つて居る、ハゲワシと同じ樣に地中海沿岸地方が本部で中央亞細亞ヒマラヤ北部支部滿洲等に分布して居る、朝鮮は其の分布の東極端である、英語ではベアデッド、バルチュアと云つて居る、兎に角本種は高山性で稀により得られず又朝鮮には發見されなかつたものが得られたのは本校の誇りとする所である。

◆テウセンオホワシ 內地に棲む普通のオホワシとは雨覆即ち肩の部分が白くないことによつて區別されて居る、體は主に黑褐色で尾の部分丈が白い、本種は鳥類の剝製家又は箭羽製作家の間に於て普通にオホトリと云はれ箭羽として最上等の部類で珍重せられて居る、又珍しいことには此の大きな鷲が從來朝鮮だけより産せないとせらるゝ珍しい鷲である夫であるから此語ではコレアン、シイ、イーグルと云ふ又シーイーグルの名の如く海岸を往來して魚類水禽類等を食として居る朝鮮には此テウセンオホワシばかりで普通のオホワシは發見されなかつたが近來發見せられた

ヒゲワシ

◆カラフトワシ 此鷲で全體黑褐色であるが肩雨覆腰等の羽毛の先は濃黃の如く黃褐色をして居る、全體が小さくイヌワシの幼き時の樣に見るら鷲類にはいるのである

◆カタシロワシ 體は暗褐色で一體に褐色斑をもつて居る、風切羽は黑色で尾羽は基部三分の二は鼠色で之れに黑褐色の不規則なる斑紋帶狀をなして居る、先の方の貫白色である、分布は廣く中央及び歐羅巴から北部印度支那西比利亞南部に迄廣がつて居る、日本では從來臺灣で取れた記錄があるばかりのが此度朝鮮に於ても發見される樣になつたのである、英語ではイムペリアル、イーグルと云ふ此の他に尙朝鮮に棲むものにはヲジロワシ、イヌワシ、ケアシノスリ、クマタカ前にも一寸書いたオホワシの五種類である、ケアシノスリ、クマタカは體小さくて鷹類の樣に見ゆるけれども脚は趾の所まで羽毛が生ね頭部に羽冠を生ずるか歐羅巴の東南部から印度西比利亞等に棲み從來日本では樺太だけより棲まないとせられて居つたものが朝鮮に發見されたのである

子供を養ふ丈の乳を

の結果は男子に在つては兵役の義務に堪へざるに至り女子に在つては已れの分娩したる子供を養ふ丈の乳をも有たぬ女が母となり、漸次低能貧弱なる子孫を殖して行く文明の保護を受けたる弱き者は、斯くの如くして遂に其民族を亡滅の淵に導きて行くのである此の點に著眼してラッセングネーを叫び弱者を抑へ强者を保護する事が民族繁榮の第一手段であると叫んだのは確かに獨逸人の卓見である爾來歐洲列强は獨逸のラッセングネーの聲に覺醒され極力民族衛生に其の

力を傾注し居たりし

が今回の戰亂は各國共に其の種族の優良なるものを驅つて戰場に送り殆ど國民の中堅たるべき優秀なる力を互に相殺傷せしめて居る、此の戰鬪の結果は列國共に著しく其の種族の優强なるものを失ひ劣弱なる人民を多く殘した事となる、戰前に於てすら强健なる人民の數を增加し劣惡なる者は

成るべく抑へて少く

する事に努力して居つた列强は此の戰爭に由つて一段の覺醒と必要との結果更に民族衛生に全力を注ぐべき事は明かである

南米震災の死傷者尠し

ニカラグツ大統領の語る所に依れば地震の爲め南米サンサルヴアトア、サンタンテクラ兩市及び附近の村落數個所潰滅したるが死傷者は少なかりきと(紐育電報)

嘉義丸門司へ

接觸のため引返す

十日午前五時朝鮮巨文島附近太郎島暗礁に接觸せし大阪商船嘉義丸は同處より門司に引返すべく十一日朝門司支店に無線電信を以て通報ありたり(門司特電)

十一日入梅

近く降雨あらん

十一日入梅當日の氣象狀況は前日オコック海方面より日本海に擴張せる高氣壓稍衰頽して高氣壓主部は小笠原島方面に移り琉球群島及び支那東海方面に擴張し同方面の氣壓漸次增高し來り北支那方面は氣壓低降したり之れが爲めに一般に南風卓越し氣溫は溫く東海岸の一部は著しく高度なるも前日來廣東州及び朝鮮北西部には局部的の降雨あり尙又北支那方面及び揚子江流域地方には低氣壓發生の模樣あるを以て近く多少の降雨あらんかと豫想せらる(仁川觀測所員談)

僧侶に化けて

氏名詐稱の前科者

山口縣下關市田中町十四番地自稱椿一心(三十三)同加藤眞淨(四十七)の兩名は數日前僧侶姿にて仁川に來り花屋旅館に宿泊中仁川警察署刑事に擧動不振と睨まれ取調を受けたる結果圓頂緇衣に身を窶せども前記の氏名は眞赤の詐と知れ氏名詐稱の廉にて拘留二十日に處せられたるが其後引續き身元調査をなしたるに椿一心は穗井松太郎加藤眞淨は黑木亮忠と僞稱し昨年平壤地方法院に於て詐欺罪に依り懲役三月に處せられたる前科者にて目下嚴重取調中なりと(仁川)

大猪と格鬪して谷底へ落つ

江原道旌善郡新東面雲峙里安文先方安在照(三三)は五月二十四日午後五時頃古城里李德五外八名が野猪三頭を發見して追跡して撲殺せんとなし居るを見て單獨にて先廻りをなし猪の逃げ道を邀擊せんとしたるに一頭の大猪は猛然在照に飛び蒐りて格鬪中猪諸共に深さ十五尺位の谷間に轉落し數箇所に咬傷されたる上心臟破裂し猪は其儘逃走せしが在照は人事不省に陷り居るを山上より發見したる者あり直ちに馳付け在照を附近の金春三方に連れ行き應急手當を加へしが翌午前二時頃絕命したり

讀者文藝 (一等に五十錢 街頭券を呈す)

〈下旬付『昨日今日』〉

圖一等なし

▲——まだ井戸端は米で賑し 上田生

▲——歐洲戰爭で儲け出し 龍山 岡本小草子

▲——あがらぬものはお給金

▲——雨一つぶが一千兩 京城 二葉

小學生徒の夜行軍

西大門小學校にては九日午後九時より上級生徒の夜行軍を試み翌十日午前五時半出發く大元氣にて歸校したる一行は先づ北門を踰ねて洗劍亭に赴き此處にて深夜の試膽會を催したるが一同なか〳〵の元氣にて無事終了受持ち先生よりは夜陰といへども無意味に恐怖すべきものに非ざるを教へ萬々歲にて引あげたり

須磨子今夜乘込

松井須磨子等の藝術座一行は既報の如く十一日夜京城に乘込むべく請元なる料理店有志、三祭藝妓の主なる者等停車場に出迎ふべく尙[illegible]大日本麥酒京城出張所にては須磨子到着の際美麗なる花輪を贈るべし

猩紅熱

京城北米倉町百四十二番地堺まつ(三三)は五日發病九日疑似猩紅熱と診斷順化院に入院加療中

◉鍾路小學女子部同窓會 鍾路の尋常高等小學校にては來る十六日(土曜日)の午後三時より同校卒業者女子部の同窓會を催しかすかすの面白き餘興など試むべしと一般出身者の參會を希望する由

灯ともしころ

▲金剛山からスケッチの繪ハガキを寄せた丸山晩霞畫伯のたよりに曰く▲五月中旬登山以來每日〳〵の好天氣で探勝と寫生に忙殺されをり候▲萬二千峰の盟主たるビンボンの峰も踏破いたし本日麻訶衍發楡帖寺に著し候▲それより溫井里に引返し暫く滯在そのうち京城へ參るべく候▲今村醫學博士の說によると頭日の巴里は燈火がなくて夜は非常に淋しい—尤もこれはツエッペリンの襲來の爲でなく主として石炭の經濟によるといふ▲そして戰線に立つた狂人は非常に多く到底日露戰爭などには見れぬ圖だといふ▲あんなヒステリー性の狂人ならば戰爭がすめばすぐ治ります ね……▲頭日英國から諸威のベルゲンまでの海上は獨逸の潛航艇で危險かと思はれるがしかし官命を帶びて渡航した邦人ならば英國の軍艦が護衛してくれて特別の船に乘せるのださうな▲英國の戰費は一日實に七千萬圓、商人は純利益の入割に當る戰時稅を負擔して些とも不平らしい顏もない、さすがに英國だ……とこれは斯波工學博士のおはなし

募集規定 [illegible]

商況

大阪株式

種類	九日前場	九日後場
宇治川水	吾、〇〇	三七、〇〇
京阪電鐵	吾、〇〇	—
東洋紡績	吾、〇〇	九一、〇〇
合同紡績	吾、〇〇	二四、〇〇
鐘淵紡績	三〇、〇〇	三二、〇〇
同上新株	吾、〇〇	三七、二〇
東洋精糖	三〇、〇〇	一六、〇〇
大阪商船	吾、〇〇	三七、〇〇
日本郵船	吾、〇〇	三三、〇〇
同上新株	吾、〇〇	二五、〇〇
堂島米穀	吾、〇〇	—
東京新株	三五、〇〇	三五、〇〇
大阪株式	吾、〇〇	三〇、〇〇

大阪三品特電

十一日前場

限月	相場
六月限	二六九、九五
七月限	二六六、九五
八月限	二六六、五五
九月限	二六六、九五
十月限	二六六、三〇
十一月限	二六六、七五

大阪期米特電

十一日前場 當限寄付 二二、四二 中限寄付 二二、四二 先限寄付 二一、九五 前引 二三、四〇 七節五〇 節二 二三、三三 二三、五〇

下關期米特電

十一日前場 寄付 高値 安値 止め [illegible]

雜報

綿絲大暴騰 二百六十圓を突破

連日昂騰新高値を逐ひつゝありしが土曜日に至り人氣は猛烈を加はへ品同日後場遂に一二百六十圓を突破し更に三百圓の大台に迫らるゝに至れり[illegible]

相場の根底漸く革[illegible]

固く缺[illegible]天井に近し

綿布突飛す 一躍九圓

一旦之が解除 再び賣止

米棉二圓

▲十一日前場 五十錢高 約十一圓 六七圓方の暴騰 現物は十五圓高

綿布は人氣混亂相場建たず

銀價新高値 本年中最高の記錄

滿洲大豆漸騰 本年中の新高値に達す

粟產地安 比之先月末に下落に當る各二十錢方

鹽鯖賣行不振

在荷停滯賣扱漸々

洋襪とタオル高

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 仲買店 電話 二八三番

粉類續いて强硬 三四十錢方の暴騰

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

釜山穀物 (十日)

生魚市場

期米賣買 丸サ 廣瀨榮之助

仁川期米

▲十一日前場 大阪天候晴天 前寄 二十二圓九十五錢 五十錢高 高の入電 時入電 五十九錢高 十錢と小甘ち移り 大阪七節五十錢 大阪四節 こう高移

田中合名會社 電話 長 六二八番

市場强硬伸脚む

市場零聞

生果市場

降雨未だし 雨量程度問題 雨降に據大の餘地 然し大に縮少

十四丁賣に二百

利喰急賣物多

遂に新高値を現出し

納金擴大す

氣成行に存外伸

頭上の薄照りに賣

仁川米豆取引所 十一日の八月限

確實迅速 廣瀨正次郎

◉再び日本に來遊して

奈良の六週間=十年後の變化=小學兒童の就學年齡=朝鮮の鐵道

東清鐵道技師長 オツト氏談

[illegible]

予は近來何となく健康勝れざる處 [illegible] 京都帝大醫科大學中西博士 [illegible] 奈良 [illegible]

◆憂慮すべき徴候 [illegible]

◆腦裡に收藏せしむ [illegible] しめんとするは反つて[illegible]育を妨げ教育の本旨を[illegible]爲めに止まらず遂には敎[illegible]るに有害なる結果に[illegible]べし云々』次いで日本[illegible]に『組織に於て稍や異[illegible]機關の現狀に就きての[illegible]るも設備に就ては最も[illegible]朝鮮に於ける鐵道は尙[illegible]と信ずと語りしのみ(釜山)

◆貴重なる價値の存

[illegible]

◆一般の風儀紊然

[illegible]

◆酒場が近時到る處

[illegible]

◉發明好の鮮人青年莚織と搗機を發明

仁川花平里四百七十九番朱德珠(三十)は幼少の頃から考案に巧[illegible]れば手工に耽るか家事[illegible]に沒頭すると言ふので[illegible]同人は數箇月前

◆T・M式莚織機 械寫眞圖を見て一番製作せんと思ひ立ち[illegible]それて模型を作り上げた[illegible]に比し部分的に異る處[illegible]としては上々の出來に[illegible]

◆小器用なるに 感服せしめて、見る人をして其の[illegible]

◆三倍の杆を運 [illegible]

◆精搗力を増す 裝置は、一方のシャフトを廻轉せしむれば、ベルトに依つて精搗機のシャフト廻轉し其の廻轉に伴ふて杵の上下をなすものにて一見甚だ簡單なる裝置なるも[illegible]精搗力を有するのみならず、牽引力人力に數倍せる牛を使用すれば更らに數倍の

◆科學的智識無き鮮人が力學應用の精搗機を發明したるは感ずべき事なりと某實見者は語りたるが該機が若し有効なる場合は道廳に於て何等かの奬勵の途を講ず可しと(仁川)

□當選者の年齡

[illegible]

小杉謹八(五一) 服部豊吉(五二)
上野弘(二四) 清水潔([illegible])
石川巽([illegible]) 河村平治([illegible])
肥塚正太(三一) 大村百藏([illegible])
大垣丈夫(五七) 青木戒三(三六)
遠藤滲(五一) 稲田源一(四一)
高山孝行(三六) 池田長兵衛(四九)
田中半四郎(四七) 高木壽(三六)
深水清(四九) 大和與次郎(四七)

◉指紋で前科露見

前科三犯の惡黨至る處で贓名を用ひる

仁川分監拘置監に入監中の忠清南道論山郡魯城面新堂里姜重壽(三二)は數月前詐欺を働いた廉に依り逮捕され目下檢事局で取調べ中であるが檢事[illegible]と白を切つてマン[illegible]れんとしたが仁川[illegible]人の言語動作を仔[illegible]獄の場數を踏んだ[illegible]りや其他の言語動[illegible]しので遂に前科[illegible]指紋を取つて司法部[illegible]結果此奴は賭博、[illegible]大正二年裏中洙と言[illegible]支廳で四箇月の懲[illegible]陽春と詐稱して七[illegible]州地方法院で四箇[illegible]を受けた惡黨と判[illegible]るが最近の進歩し[illegible]前科者は如何に白[illegible]しに前科を覗破さ[illegible]れる(仁川)

戎克も亦船腹の不足

◇◆◇仁川に於ける內鮮間貨物輸送計畫◇◆◇

—船舶檢査令船舶職員令の適用を受けねばならぬ—

◆戎克の積 載量、購入費[illegible]及び乘組員其他に關する[illegible]したるやにて、今や戎克[illegible]商海運業者間の一話[illegible]路に使用する爲には之[illegible]は借入れをなすも[illegible]

◆船舶檢査 令に依り檢査[illegible]又船舶職員令に依[illegible]果內鮮間貨物輸送に戎[illegible]機關の調節を計らんと[illegible]某々方面に目論見られ[illegible]既報の如くなるが該記[illegible]仁川有力者中には時節[illegible]可き計畫なりとし

り海技免狀受有者を船長として乘込ましめ支那人も又朝鮮に於て船員手帳を受けしめざる可らず然して戎克も又帆船なれば朝鮮に船籍を置き

◆不開港に 入港し得る資格を有せしめ置く場合は便宜多大なる可しと云々、と語り三井物產仁川支店長土岐氏は支那に於ける戎克は汽船の壓迫を破りて逐年其數を減じ

◆造船率も 甚しく減退したる模樣なるが更らに本年に入りてより北部支那の大饑饉に因る滿洲粟及び高粱の滿洲山東省間の輸送甚しく増加したると鴨綠江材の支那輸出好況なるに伴ひ戎克の船腹著

◆內鮮間の 貨物輸送に就し不足を告げ居るを以て、今假に航せしめんとして購入若しくは借入をなさんとするも容易に手に入る事能はざる可く強ひて之れを爲さんとせば時價騰貴し居る爲め結局豫想せし程の

◆奇利を博 し得るや否やは疑問なり云々、と語りたるが仁川某事業家中には既に青島に輸出すべき建築物を戎克に依り輸送すべく東縣に於て傭船の準備を爲しつゝありとの事なるが、何分未だ曾て

◆內地人の 手に依りて經驗せられざる戎克輸送の事なれば果して成功するや否やは實際に該つて見ざれば豫想し難きも操縱者の手腕如何に依りては相當の効果ある可く期待さる(仁川)

◎漁道の變化で漁夫の狼狽

延平島に於ける本年の石首魚

延平島に石首魚漁期一箇月間出張し數日前歸任した朝鮮水產組合仁川支部長中西楠吉氏は延平島に於ける漁業狀況を語る、例年五月初旬から

◆盛んに漁獲 せられるのであるが本年は約十日間計り遲れて五月中旬から本月初旬迄が盛漁期であつた然るに如何なる原因に依つてか例年延平島の西南沖合が漁場であつたのが本年は

◆海州に近い 陸地方面が漁道となつた爲め漁場の區域は廣くなる、魚道に經驗が無いと言ふので漁船中には網碇等の漁具を破損させた者が多く一時は

◆非常に狼狽 した者もあつた、從つてうまく漁道に當つた者は千數百圓の水揚げをし、不運の者は百五六十圓の水揚をしたに過ぎないと言ふ具合で本年の如く漁獲高に甚しい等差を見た例は無かつたのである

◆延平島の 漁獲は本月四五日頃で大體終りを告げたが昨年より約二三割方の不漁で新漁船の數も例年に比して尠く僅かに五百艘內外に過ぎなかつたが此等漁船の中約二百隻は

◆平安北道 圓島方面へ約五十隻は平安南道の漢江沖へ其他は群山方面及び仁川近海內地等に夫々赴いた(仁川)

渚の砂

■尼僧の遊興 奈良縣添上郡治道村極樂寺の尼僧[illegible](二七)は刑の執行猶豫中だが六月二日檀家[illegible]から本山への納金だと欺して七圓捲上げ共犯で奈良市木辻遊廓第二加賀樓に登つて馴染[illegible]を總揚に遊興中を捕へられた

■恐しい人鬼 久留米に其兇惡しが現はれて間もなく此度は東京府下日暮里に人鬼が出た犯人は[illegible]加藤い(四八)[illegible]次郎(四一)の兩名で[illegible]十二名の貰ひ兒を[illegible]殺して[illegible]を捲上げて居つたさうな

■恐ろしい女 [illegible]村うめ(四〇)は[illegible](四五)の[illegible]で殺[illegible]近[illegible]で捕へられたと

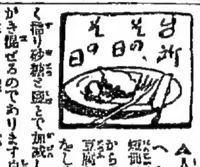
■暴れ坊さん [illegible](三七)といふ坊さん[illegible]で[illegible]一人を小川に突き倒し[illegible]て行く[illegible]

■妻五十八名 [illegible]の主人[illegible](六六)は[illegible]に五十七人の女房を取替にたるが今度貰つた花嫁が五十八人目なりと

■父兒の自殺 [illegible]酒色に耽つた爲め[illegible]自殺され四つになつた長男を[illegible]六月三日其の子供を[illegible]して自分は[illegible]自殺を遂げたのは愛知縣西加茂郡小原村水野[illegible](二九)

◎無錢遊興 秋田縣仙北郡神宮寺町生れ京城長谷川町下宿屋止宿中なる小西喜久治(四三)は六月四日俄に威勢よく新町遊廓鐵門樓事[illegible]方に登樓し遊興數一圓六十五錢を請求されたる際假眠して支拂はず家人の隙に裏口より逃亡したるより告訴せられ此程本町警察署に捕へられ取調べの上檢事局へ送らる

◎干鰒の中毒 仁川花平里金産化長男金今龍(一六)は十日午後四時頃干鰒の中毒にて苦悶の後死亡したり



▲人蔘と蒟蒻の白和へ 人蔘と蒟蒻とを細かく短冊に切り一緒にして少しからめに煮て置きます別に豆腐を布巾に包み輕くおしをして水氣を去り擂鉢でよく擂り砂糖と鹽とで加減しさきの二品を入れてかき混ぜるのであります白胡麻を炒つて豆腐と一緒にまぜ合せると香ばしくて結構です凡て白和へには熱いものが禁物で能く冷ねてから入れないとすぐ豆腐が腐敗します

◉大邱[illegible]に捕ふ

北慶山郡江面桑洞金承瑾方にては昨月二十七日[illegible]

◉連絡船上陸

十一日午前九時釜山入港高麗丸一二等客一等(八名)[illegible]

演藝案內

東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營 **有樂館** 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
▲六月八日より公開特撰フヰルム ▲實寫 ユニヴァーサル週報 ○米國ユニヴァーサル會社傑作 ○神秘劇『ふた道』全三卷 ▲大活劇 [illegible] ○資本金二億圓世界一米國ユニヴァーサル會社特作 ▲驚天動地大活劇の幕は本日を切て落さる ○世界的の連續寫眞第三『紫の覆面』 ▲[illegible] 凸坊夢の卷 早川演藝部專屬義太夫竹本朱好十八番の語一 ▲餘興『三勝半七酒屋の段』 日本活動寫眞界の權威東京小林商會特作 東京女優界の大立物木下八百子の努力劇 ○新派家庭劇『心の闇』 [illegible]

京城壽町 電話一〇〇三 **壽館** ▲女義太夫豊竹小糸一行 當る六月十一日三日目 [illegible]

明治町 電話二六〇 **浪花館** ▲女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行 今回會の[illegible]お名殘り特別興行として九日より開演

櫻井町 電話八七三 **大正館** 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ▲六月七日より提供の三大寫眞 [illegible] ○冒險活劇「秘密」 [illegible]

電話一一九一 **御成座** ▲新派劇革新俱樂部一行第十回藝題 一番目「喜劇」女房の笑顏 二番目 [illegible]

電話二六三七 六五二 **黄金館** 六月九日より新提供寫眞 [illegible] ▲第七第八ポーリン [illegible] ▲新派悲劇 [illegible]

◎社員募集(日鮮人) ▲希望者は各地所在事務所へ來談 **明治公債株式會社** 朝鮮台灣中國九州營業本部 釜山谷町二 電話(三四三七七番)

十四金ペン尖 スワロウ印 萬年筆 一円五十錢より八円迄 朝鮮支那特約發賣元 安將文房具部 各文具店に販賣せり

華道家元 **池坊生花大會** 家元代見岩田立山師御出張相成居候に就いては來る十二日十三日兩日南山本願寺に於て生花大會開催仕候間隨意御縱覽被下度候 京城 池坊華友會

期米 曽我商店 [illegible]

花柳病 外科專門 ◎梅毒 ◎痳病 ◎睪丸病 ◎肛門病 ◎泌尿生殖器病 ◎皮膚病 婦人病 ◎神經衰弱ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 **司生堂醫院**

(新菓) **金剛飴** 京城本町二丁目 電話四七五 龜屋商店

新田式耐水調革 新田式バラタ調帶 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城支店 白神洋行支店 **新田帶革** 定價表申込次第送呈

皮革製造販賣 牛皮 山羊皮 高價買入 京釜線大田 **大田製革組合** 電話長一三四番 電略(タヒ)

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 **富安本店** 發賣元 京城永樂町二丁目 **富安京城支店** 電話四一〇三九番 振替口座四三三九番

當選御禮 京城本町 **池田長兵衛** 有權者各位

移轉擴張廣告 大正齒科醫院改 京城旭町二丁目八一(府廳裏通り) 取次電話一三八九番 **稅所齒科醫院** 元南米倉町

◎女義太夫小糸一行 今回京城魚商組合の後援に依り女義太夫小糸一行を招き九日より向ふ一週間壽館に於て開演仕候に付特別の御贔負を以て御來聽被下度此段御願申上候 壽館 小糸一行 請元 敬白

內科 小兒科 婦人科 眼科 京城南山町二ノ四六(三越合宿所上) 電話一一三二四番 **一元堂醫院** 小山亭

登錄商標 **安住かとり線香** 天下一品 年々益々好評 內外各博覽會 金牌受領 安全第一蚊に安住香 今晩から直ぐ御使ひ遊ばせ 例年の通り景品券附 拾函買へば登函無代進呈 到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す 大阪北區曾根崎町 **安住大藥房** 電話長東二九五番 振替大阪二六四〇

塗料 船具 油類 金物 土工用器具及材料 雨覆天幕製作販賣 近江帆布會社製品朝鮮一手特約店 同免許船燈製作販賣所 旗印石油合組販賣所 **總村谷本店** 仁川本町一丁目 電話長五六 振替京城五九番 支店 **村谷石炭部** 仁川府支那町 電話八一九 振替京城五九番 **義州印刷所** 平安北道義州城內 電話長二 振替京城九八二

▲京城溫度 六月十一日正午 [illegible]

[illegible]

明君道中記

第百七十三席　田邊南龍口演

松平長七郎は御酒を召上りながら宇平次と何やら話をいたし、三宅の歸りを待つて居りまする處へ、宅兵衛は神奈川本陣より歸つて參りまして御前へ出る　長「オー宅兵衛か大きに御苦勞であつた、然し伯父上より何と申された　宅「御意にございます只今君の御身の上を案じ給ひ我々へ對して長七郎を何分賴むといふ仰せでございました、其の上又道中筋にて萬一金子にも差支へた節は和歌山へ沙汰をいたせ、其時は何時たりとも金子送付いたし遣はすと仰せられました　長「伯父上には長七郎を斯くまでに思つて下さるか、我死すと雖ど此の恩義は忘れぬ　宅「取分けまして當座の小遣として金子三百兩下も置れました　長「何金子までも下れたとな　宅「それに就まして申上げまする先刻君へ對して不禮を働きました徒士　長「イヤ憎い奴じや、予のことを犬と申たによつて後刻手討にいたして遣はさうと存じて庭前の立木に繋がせ置いた　宅「其のことでございます、君を指して犬畜生と申した譯には無之、下座をいたせ下に居れ下に居ねかと申したので、犬といふ譯ではございません　長「ハア下に居ねかと申したのか、犬では無いな　宅「左樣　長「イヤ彼は紊い奴ぢや、主家の威光を輝さんといたす天晴忠義なものだ繩を解いて助けて遣はせ」直に繩を解いて彼の徒士を御前へ召伴れる、　長「コリヤ其方が予のことを犬と申したのは下に居ねかの間違ひであらうじやな　徒士「御意の君のことを犬と申す譯はございません下に居ねかと申しましたので　長「イヤその事相判つた、主家を思ふ汝の志感心いたす褒美としてそれを取らせろ」とたつて今紀伊殿から下された三百兩の金子を殘ず徒士に遣らうとするから三宅宅兵衛驚いて是を止め　宅「恐ながら金と申す物は得難いものでございます、御褒美とあらば此の内を些かお遣はし遊はす樣　長「左樣か、然らば其方宜きに取計へ」三宅宅兵衛は三百兩の内より一兩の金を取出し　宅「コレ御褒美として一兩下し置れる有難く存せイ　徒士「ヘエ」と云つたがお徒士はつまらない顏をして、殿樣が三百兩下さるといふのを家來めが餘計なことをして只た一兩とは情けない、とお徒士な顏をいたしました、處へ神奈川の本陣より同道いたしたる紀州家の役人が此處へ出てお詑をいたし彼の士を伴れて神奈川へ立歸りました、紀州賴宣公は翌日神奈川をお立に相成り和歌山へ歸國遊ばされました、長七郎は此處に四五日御滯在になりましたが田中兵庫に御暇を給はり此處を御出立になつて彼處より平間村の大師へ參詣をなされて再び街道へ出で道を急いでお出になりましたのが神奈川の臺でございます、昔は神奈川臺には七八軒並んで茶店が出て居たもので長七郎は中ほどの茶店へ入つて御休息を遊ばします、始終宅兵衛宇平次は土下座をして居る　長「コレ〳〵兩人長の旅である、其方共の樣に禮を厚いたし土下座をして居るのは太儀であらう以來は土下座をするに及ばん此處へ來て腰を掛けろ　宅「サア恐入りましてございます　長「〳〵苦しうない此處へ〳〵」兩人は御免を蒙つて末の方の縁臺へ腰を掛け茶烟草なぞを喫で海の景色を眺めて居りまする、スルと神奈川臺へ江戶方より參りましたのは二三十人の若者、何れも後鉢卷玉襷白き裝束にてガラン〳〵鈴を鳴し三四尺もあらう木太刀を持つてワア〳〵と云ふ聲を揚げて登つて參りまする

登錄商標 MARUKAN
宮內省御用達 最上清酢
品質及釀造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四五番

入院隨意 胃腸病院
京城南大門通二丁目七番地(朝鮮商工銀行前)
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

[illegible]專門
京城本町二丁目電話六一四番
尾張屋メリヤス店

六月十三日
旧四月廿四日丙戌
本命五黄八方取先負
▲五黄● 險難有る日注意新事 見合南方は吉婚姻なし
▲六白● 向上の日轉居開業入學名弘命件
求職結婚公事請負業等皆吉
▲七赤● 何やかなる日
開業入學名弘建築求職結婚舊祝ひ事萬吉
▲八白● 善を施して反て損となる事有る日 新事手控諸事土工は吉なし
▲九紫● 得意の日新規旅行入移名弘命件探　同縁組嫁萬吉
▲一白● 手の届かぬ事有る日新事手控諸事は吉衛生に注意せらるべし
▲二黑● おかみたなしの事有る日新事手控諸事は吉保證受印等を禁す
▲三碧● 不得策の事有る日新事手控諸事は吉一切のかけ事せぬがよし
▲四綠● 一寸一ぱい喰はんとす新事手控諸事は吉貸物に用心せらるべし

ルーデサック 特製品
十個四十錢 十個六十錢 變形一個十五錢 女用一個八十錢 ▲月經帶一個廿五錢 廿個以上一割引 郵券代用一割増 送料 振替京城三二七番
京城黃金町三 山田文殊堂藥房

登錄商標
何れの家庭にも常備の救急藥
十安川コロダイン
むねはらいたみ・じよくあたり・はきくだし・きつけ・どくけし・にはか
赤十字印
効力非凡なる本劑は一般に定評あり
○効能 ○腹痛 ○胃痛 ○食傷 ○吐瀉 ○氣付 ○霍亂 ○痰咳 ○目眩 ○卒倒 ○惡心 ○酒醉 ○船醉
諸君は本劑を常に少量づゝ服用すれば精神爽快なり氣力増進す
定價 十錢 二十錢 三十錢 五十錢 一圓
東京市日本橋區上槇町
本舖 安川見榮堂本店
振替東京二四九一二番 電話本局五一五〇六・二一九二番
本品は全國賣藥店にあり御求の節赤十字の商標に御注意を乞ふ

りん病
石炭酸より勝る劇烈なる殺菌力を有す急性は勿論重症の膀胱及淋疾を治す目的の內服藥にして尿道組織のシワの中に深く食ひ込み淋菌に對し驚く可き作用を選ぶ急性は一圓廿錢慢性用一劑三圓効力を疑ふ人は見本を請求せらるべし無料送呈す
大阪市南區櫻川四丁目
藥劑士 淺田藥局
振替大阪三壹二四九番

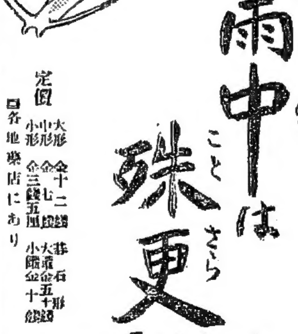
驚いた！化学の力
つけてものんでもニキビが治る
にきびそばかすをとり色白くなる
ベーリン
全國化粧品藥店にあり
東京上野博仁房
特約店 京城南大門通 新井大藥房

寫眞
寫眞引伸撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
敏速と低廉とを以て御需に應ず
京城日報社寫眞製版部

營業品科目
スレッパー
麻裏草履
表附雪駄
履物一式
◎商品目錄送呈す
大阪市南御堂前
履物問屋 米谷新助
電話東四五一番 振替大阪五五八番

正確無比!! 石版摺四度!! 四十二頁
大好評 大增補いろは引
忽五版 古錢金銀價格表
定價金廿五錢 郵稅二錢
發賣元 大阪松屋町博物圖書出北家村書店
振替大阪一六二六〇番 切手代用一割増
錢圖七百餘挿入!

THE Kentsuguan
健通丸に就て學者曰く
原藥の精良配劑の巧妙共に人爲を盡し眞に斯界の名譽を占有するものなり
健通丸の實驗者曰く
如何程きつい便秘でも腹を痛めず快く通じて決してクセにならぬのが此藥の特徵です、隨つて腸胃を整へ習慣的便秘の方も下劑を要する度合が自然に減じます云々
健通丸主治効用
▲大便秘結 ▲消化不良 ▲逆上 ▲腹中雷鳴 ▲肩の凝 ▲肚腹膨滿 ▲口のあれ ▲溜飲 ▲惡心 ▲痔疾 ▲頭痛 ▲耳鳴 ▲水腫
定價 十八日分金五十錢 十日分金三十錢 六日分金二十錢 二日半分金十錢
全國各藥店に有
大阪 參天堂藥房 發行


梅雨中は殊更

を
定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金三錢五厘 特大形金五十錢 大箱 小箱金十錢
各地藥店にあり
代理店 京城市大門通り 新井藥房

人參を服用する人はホシ人參丸を選べ
ホシ人參丸は人參の研究を以て名ある三宅博士が朝鮮人參の本場なる開城産中の最良品を選擇し是を科學的に精製したるものなり
体力精力增進
ホシ人參丸
帝國大學、農科大學、理學博士 三宅驥一先生勸奬
主効 神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、リウマチス、子宮血の道、胃病、腦病、腳氣、消化不良、陰萎
定價 廿錢 五十錢 一圓 二圓
東京京橋南傳馬町三丁目 星製藥株式會社
電京一七八五、振東二〇五二三
《各地藥店及特約店にあり》
特約店 京城府太平通二丁目三〇五 キムラ藥房

明治三十九年九月八日第三種郵便物認可

京城日報　第三版

大正六年六月十二日　THE KEIJO NIPPO　第三千四百九十八號　(一)

支那商工業の變遷(十)

今關天彭

二、隋唐及び五代の商業(其三)

計然、范蠡の後に計學に通曉したのは劉晏である。劉晏は肅宗、代宗の時代にあつて、善く財を理むるを以て稱せられた。その眼目とするところを見るに、務めて人口をふやして財物を生産させ、そして歳入の額を增すのであるが、その術たる種々あつて、一樣には言はれぬけれど、商業關係の事を見ると、健脚の人を高價で雇ひ、要所々々に驛傳を置いて、四方の物價を偵報させ、遠い距離の事でも數日ならずして手許へ届くやうにして、物價を上下する權利を掌中に握り占め、全國に渡つて甚だ高いもの甚だ安いものゝないやうにし、そして國庫の利益を計つた。また官營を民間の雜貨と交易して、官用に供するかたはら、時を見計ひ賣り出して利益を得た。また鹽法を行うた。即ち鹽の出る所に官吏を置き、製鹽家の鹽を官に買上げて商人に轉賣し、鹽地の遠距離の地方にあつては、鹽をその地に貯へ置き、鹽商人が無くて鹽價が高くなると、官庫の鹽を安く賣り出した。常平鹽とは是である。始め江淮の鹽よりする所の利益は、四十萬緡を出なかつたが、末には六百餘萬緡に上るやうになつた。この劉晏の理財は唐代に有名なるものである。

德宗の時は、藩鎭の驕橫甚だしく、ために屢々戰亂が起り、軍費多端であつたので、種々の取立法行はれ、官吏もまた天子の勢を借りて、その貪慾心を滿さうとした。そこで商人は非常の損害を受けた。括錢令はその弊政の一つである。是より先き太宗の時に括錢令を行ひ、錢を商家に借して利息を取つたが、肅宗が江淮間の富商の資財を籍し、その五分して一を納めさせて率貸といつたが、これは商人の錢を借るのであつた。括錢令行はれて、長安中の商人の所有錢貨を捜し、質貸を申し出ぬ嫌疑で拷問にかけられ、その苛酷に堪われずして縊死した商人があり、市上は恰も劫掠に遇うたやうであつた。また僦櫃質錢(質の利錢)及び錢帛穀類を貯へて居たものから括つて借上を斷行し百姓は爲に市を罷むるに至つた。常平官が弊政の二つである。常平官を置き、また布帛類を兩都(長安、洛陽)江陵(今の湖北荊州府江陵縣)成都、揚(今の江蘇揚州府)汴(今の河南開封府)蘇(今の江蘇々州府)洪(今の江西南昌府)に儲へて、常平に用ゆる資本金を十萬緡乃至百萬緡と定め、商人の錢に課税して常平の資金の不足分を足したが、軍資逼迫の爲めにそれを融通し、從つて集まれば從つて耗り、規定の數を備ふる事が出來なかつた。宮市は弊政の三である。宮市とは宮中で物を買ふに官宦を以て取扱はせた。以前宮中で市中の物を買上げるには、官吏が取扱ひ、買上げるに從つて價格を給したのであつたが、無理に抑へつけて、白望(役の名)數百人を長安の東西市に置き、率ね百錢位の物で、數千錢の價値ある物を買ひ上げ、紅や紫で染めた故る衣服や敗れた絹を一二尺程裂いて之に給し、その上諸門の經過料、宮中への運搬料も人民から無理に取つた。人民が貨物を以て市に行き、宮使の爲に取上げられて手を空しくして歸るものがある。從つて商人が良い物があるときは、深く之を匿すやうになつた。この宮市は順宗の時に罷めた。

法螺吹の話に就て(三)

渡邊彰(寄)

又大悲經には『若し一切の諸天善神を呼召することを爲さば寶螺手を求めよ』とあり又不空羂索經には『若し螺を加持して高望の處に詣り大聲に吹けば四生の衆生螺聲を聞く者諸の重罪を滅し受身を捨て已りて等しく天上に生ぜむ』とあり天安の佛教會員に上會に於て毎朝法螺を吹きて會員に一齊起床を促す約束を定め之を實行することを佛說經論上に典據を求むれば右に擧げたる經典に依るものと云はねばならぬ又金光明經には『法螺を吹き大法鼓を擊つ』とあり又法華經には『大法鼓を擊ち而して大法螺を吹くは皆く大法雨をふらして无量の衆生を度す』とあり彼此思ひ合すれば法螺を吹くは一般に警告の爲め注意の爲め紀律を正しくし順從を規示するが爲なれば古來軍陣にも之を用ゐて紀律を正しくし其進退を號令せる器械として用ひられたり。然るに[illegible]ずべからず[illegible]話は此の邊に止[illegible]言述べ置く[illegible]あらず、法螺[illegible]善惡二種の方面[illegible]故に吹き手は[illegible]と思ふ、先づ[illegible]手に望む處は[illegible]能に熟達する[illegible]合を誤らず聽[illegible]なる次に技能[illegible]自在の妙を得[illegible]しむる利あり[illegible]觀察すれば法[illegible]既に虛言者の[illegible]法螺吹きにも[illegible]が法螺吹きの[illegible]其の流を汲み[illegible]高きものを[illegible]大師。道元禪[illegible]人。日蓮上人[illegible]著名なるもの[illegible]羅の元曉師[illegible]天國師。佛日[illegible]太古和尙。西[illegible]如きは法螺吹[illegible]の流れを汲[illegible]べき名德な[illegible]して再び唱[illegible]すれども之を[illegible]

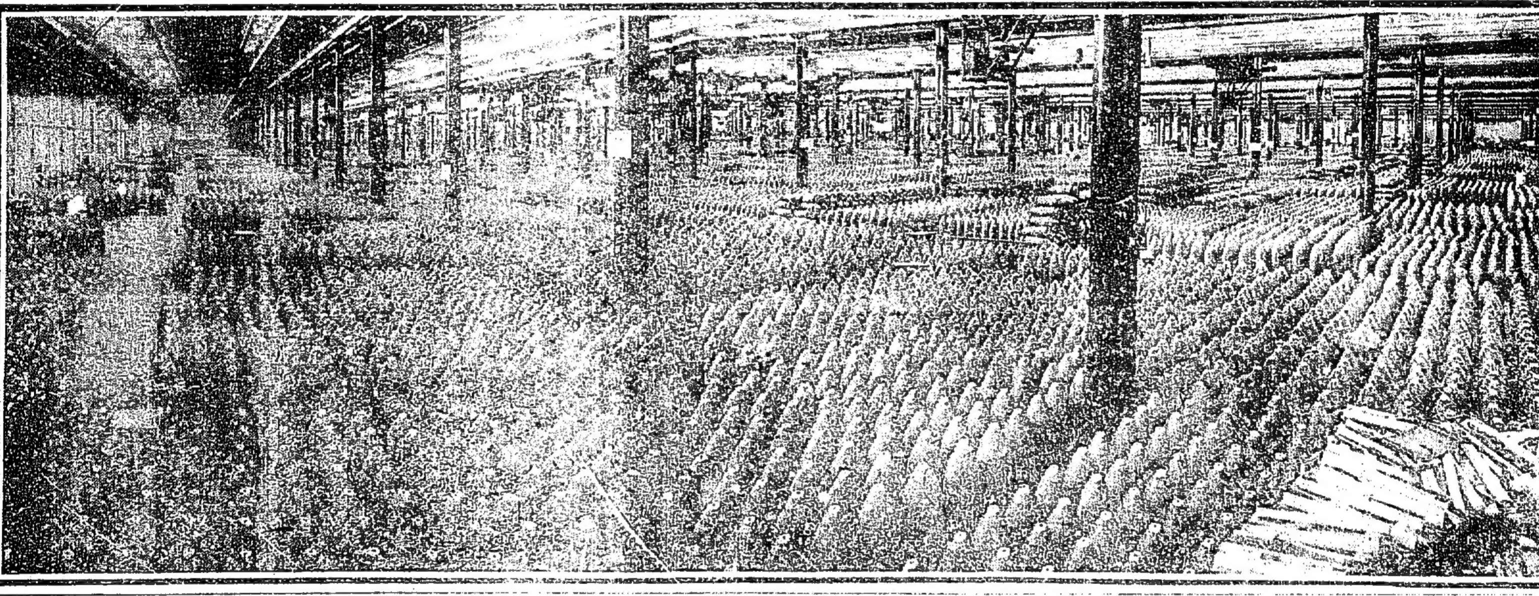
朝鮮の印象(下)

東京にて　中澤弘光

京城は日々に日本化してゆく。城壁は崩され、洋館は建ち[illegible]日に著く。京城[illegible]逐、漢江の岸[illegible]もいゝ、昌德[illegible]光化門もいゝ、[illegible]である。雖然[illegible]しい春の花を[illegible]樓閣を見、私[illegible]しい春の哀れ[illegible]赤い杜鵑の[illegible]蔦は生ね蔦は[illegible]瑠璃の瓦が一[illegible]りである。[illegible]摘む人もなく[illegible]圓くひろがる[illegible]白い梨赤い桃[illegible]美しく揃つて[illegible]も擱け、或は落ち、八角の屋根には[illegible]一つ光つて居るばかり[illegible]を敷いた樣な菫は[illegible]妓の裳裾の樣に、[illegible]の花は今を盛りで[illegible]柳と、春の粧ひは[illegible]人は唯私等の外には無い。靜かで湖の樣な景色に接して、永き日を此の奧に樂した。やがて亡くなる此建築を寫した。日は低[illegible]思ふと、格子を亂れて[illegible]なつた。光は宮殿の一[illegible]は鍵を持つて此處に立[illegible]想像が出來る。今は[illegible]に立ち盡した池の水には黑い影を映す樣になつた。閔妃の殂落したといふ跡に咲いてる白い花は、暗い中に見ねる樣になつた。私達はいそいで守備の宿直所を訪ねた。今日の一總服裝の自分達と、此宮殿の灯影とが甚だ不調和であることなどに氣付いた。朝鮮は朝鮮服で無ければいけない。背後の山と此澤山の建築とはよく調和して居る。私は月の薄明りに光化門の大い監門を潜つて出た。

平壤は大同門附近が、牡丹臺より遙に面白い。それはまだ朝鮮らしい氣分がよいからである。牡丹臺は有名な名所を保存する爲に、掃除の行き届き過ぎた、朝鮮の古びを洗ひ落した樣な感じがした。如何にも綺麗な見晴らしのいゝ公園の樣に片付いてしまつた。建築と建築との連絡に付いて居ない、離れ〴〵の樣になつてゐる。苦にならないものだと思つた。然し私は、川向ひの景氣を見ないのだから、牡丹臺をけなす資格は無からう。昨柳が紗い。大同江は遊ぶ所である。月の樣にポプラが多い。月に妓生を乘せた舟を浮べて見たり、藝者を呼んで宴會をするには牡丹臺は氣持がよからうといふ事などを思つて見た。妓生を乘せた舟の騷ぎが、水に響いてくるのを聞き、白い色や赤や紺や黃や紫等の水に映つたのも見た時がある。然し私は周圍の背景に不滿を感じて居たので、それが嵐山や石山などの樣に、[illegible]にしようとは思はなんだ。

平壤の女は折目正しい白い布で髮を蔽いてゐる、日本の手拭に近いものである。あの濃い髮の黑い生際を見る事が出來ないのを惜しいと思つた。それから洋服のチヨッキの類を多く用ひる流行も、餘り好ましい物では無かつた。朝鮮の風俗は、日本化してゆくものである。內地も日に[illegible]化してゆく時である。朝鮮は城壁の必要も無くなり、あの銅像の帽子もやがて貴重の品となるであらう。白衣は黑衣となり、山野は樹木が繁る樣にならう、其時再び朝鮮を見ようとは思はない。朝鮮の服裝は何時までも步ける美術品である。私はそれを保存して見たいと思つてゐる。



無數の大砲彈

戰線に向けて送達準備を了せる一英國砲彈工場に於ける無數の大砲彈

日報詩壇

○觀牡丹　大出水鈴

一笑嫣然翠黛開。何如神女倚[illegible]。牡丹猶有[illegible]。[illegible]無風香滿[illegible]。

評曰　使人恍惚

○老人亭聽杜鵑　西村秋湖

枯林蕭茂著新衣。重疊天寘欲夕暉。停杖老人亭畔路。一聲斷續杜鵑飛。

評曰　幽寂

○山中見牡丹　古城梅溪

天香似怕污塵埃。不與群芳放[illegible]開。試向山中開富貴。爛然國色錦成堆。

評曰　遺意自在

○夏日幽居　安永春雨

綠樹深深蝶徑[illegible]。園池水暖長魚苗。籬不[illegible]茶爐畔。一架薔薇花影小。

評曰　寫景幽婉有思閒雅

○春日禪林小集　楢田天風

乘興尋佳約。禪林氣互披。把杯賓與主。敲句唱兼酬。榻底禪呼友。花梢月照樓。春光幽事足。醍醐自悠悠。

單衣

五の日十の日會

○單衣になりこの一二三年すこやか　浮碧樓

○單衣になるすぐを子が膝の傷　句平

○今日から單衣になる鉢の紺　竹鳥堂

女子の本分

△料理の出來ぬは女一生の損

△禮法を知らぬは女一生の耻

△一擧兩得の妙案　女子の本分は、婦道を守り、家事に努むるにあり。茶の湯、生花、音樂等の如きは、趣味を向上せしむるに必要ならんも、更らに肝要なるは、家庭料理を研究し、禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得なくば、如何に趣味の向上を努むるも、遂に實務的婦人となる能はずして、女子の本分を盡し能はざる可し。家庭料理の研究は日々三度の食事なれば、經濟に、美味に、また滋養あらしむるを得べく、禮儀作法の習得は、日常の應作進退に度あらしめて、恥を知らぬ要意たる可く、女子たるもの、必ず習得せねばならぬ事どもなり。されば婦人界近來の傾向として、女子は何人も料理の研究と、禮儀作法の習得に心を用ひつゝあるが如きも、適當なる手引に窮するもの如し。

△板垣伯夫人は　此點に留意し、同所より東京割烹講習會を設立し、講義錄を發行し、家庭の婦人に、實務的婦人の素養を會得し得るの便宜を與へ、料理さ、禮儀作法さを、容易に會得し得るやうにしつゝあれば、今左に同會發行の講義錄の內容を紹介すべし。

△年中行事と料理　▲正月と節句　▲端午の節句　▲盆の節句　▲七夕祭　▲十五夜　▲重陽の節句　▲七五三　▲大晦日　▲祭禮祝　▲誕生祝　▲出產祝等の年中行事は勿論、祝事は凡て其の料理を以てし、尚其の料理法を講述しあり。

△日本料理科　▲選擇、齊の字、米の飯等の、人一代の行事も、悉く詳細に說明し、其の料理法を講述しあり。▲各種會席料理　▲三汁八菜　▲二汁七菜　▲一汁五菜　▲一汁三菜等の日本固有の料理を始めとし　▲家庭向惣菜料理　▲卽席料理　▲點前料理　▲浮節食の代方　▲老人、小兒、病人の食物等、實益と趣味を兼ねる記事頗る多し。

△西洋料理科　▲歐洲各國料理　▲米國の料理　▲正餐の獻立　▲略餐の獻立　▲日常料理　▲一品料理　▲パンの製法及び御茶の入れ方まで西洋料理に關する事項は、詳細に說明しあり。日本料理、西洋料理の作法の槪と相俟つて、本講義錄の中心と思はる。

△支那料理科　支那料理は、最も進步せる料理なり。本講義錄は其の點に留意せるものゝ如く、每號十數種の料理法を講述せり。

△和洋菓子科　實用に家庭の娛樂を兼ねたる高尙なる和洋菓子の製法を講述す。

△漬物　漬物は日々の食事の必要品にして、鹽加減等の頗る困難なるは親ら手を下したるものゝ等しく嘆ずる所なり。本講義錄がこの點に心を用ひたるは嬉し。

△禮儀作法　料理の講義錄に此の禮儀作法を加へたるは、同會目的のある所を察し得べく、編輯の苦心も亦此邊にあるべし。此の欄には　▲日常進退の心得　▲男女衣服心得　▲和洋食卓法　▲嫁入り、娛樂等、凡そ心得ねばならぬ禮儀作法に、悉く挿入にて說明しあれば、何人も容易に會得するを得べし。

△本講義錄の特色　本講義錄の特色は、其の記事が悉く實習の結果たる事なり。同會には附屬の女子割烹學校あり、又講師研究會あり、何れも斯道の專門大家を聘して、其の講義を擔任せるものなれば、直ちに記事としたるが本講義錄なり。されば本講義錄が他の講義錄と全く趣を異にせるは勿論、文章平易、總振假名を以てしたれば、何人にも容易に領解さるべし。而して其の講義が常に季節を追ひ、一も季節外れのもの無きも、亦この講義錄の長所と云ふべし。

△會員募集　目下同會は會員の大募集中にして、此の際の入會者には、種々の特典あれば、入會の好機會なるべし。會費は一ケ月三十五錢。三ケ月一圓。六ケ月一圓九十五錢。一ケ年三圓六十錢なり。

△入會の手續　極めて簡單にて「ハガキ」に講義錄送れと書いて申込めば、直ちに會員として送本し、會費は後に其の地の郵便局より集金に行く故、何の手數も無し

△五大特典有り　入會金免除、料理必携進呈、六ケ月前納者には家庭寶典を、一ケ年前納者には記念メダル及び婦女遊鑑を進呈す

△內容見本　希望者には、請求次第無料進呈すと云へば、遠慮なく

東京本郷元町一ノ三

東京割烹講習會

へ申し込まるべし。尙同會は振替口座東京一九四一〇番。電話下谷五六九二番なり。

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目　京城銀行前　三浦天龍堂　電話一二〇〇番　振替京城三〇四番

六月號の要目

植民世界

(毎月一回一日發行、定價一部廿錢、郵税一錢、一年分税共二圓廿八錢)

▲異人種開發と娛樂機關統一(高松社長)　▲植民省設置急務(內田遞信次官)　▲日支親善の實(大倉男爵)　▲植民地と簡易生活　▲植民界の一大福音　▲海外に行く女　▲蒙古飼羊業　▲雲南緬甸の奧　▲快傑原田孫七郎　▲幽靈船(細川風谷)　▲女海賊の悲劇(羽太ドクトル)　▲女海賊小僧お絹　其他有益記事豐富

東京牛込東五軒町五四　發行所　植民世界社(電話番町一〇六五　振替東京三六二二)

新刊　海外渡航案內　好評再版　六月末日迄特價

購買入札

官入付交換器材外貳拾八點右購買ス詳細ハ大正六年六月拾貳日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

輸出殘品見切　玩具

二百個入　一圓半　送料四十錢

東京下谷區泉寺町四三　土佐屋

最新刊

書名	著者	定價
實驗化學工業(三冊)	豫約特價	一五、〇〇
佛教人生觀	南條文雄	一、八〇
戰後の事業と會社の內容	上田	一、五〇
現代の藝術	[illegible]	一、三〇
波上の日本	佐藤鐵太郞	一、〇〇
名文軌範	大町桂月	九〇
三角方程式	林鶴一	一、〇〇
千敎一週	矢野常太郞	七五
支那の眞相	大河平隆光著	一、七〇
新譯韓非子	野中元三郞	九〇
文學論	夏目漱石	一、七〇
繁昌する商店	[illegible]	八〇
三人の弟子	[illegible]	九〇
入學試驗共通問題解釋	松浦秋泰	九〇
あの山越し	奧野多見男	六五
受驗必携朝鮮公文解釋	安達大壽郞	四〇
新式圍碁寶典	鈴木爲次郞	六〇
基本體習詩證かな帳	[illegible]	四〇

京城本町一丁目　大阪屋號書店

十一日の八月限

平均値段　賣買取組高

發行所　京城大和町一丁目　合資會社京城日報社

支那の形勢

▲形勢混沌雨か風か
王、江兩氏天津派に內應=李經羲氏態度一變=伍廷芳氏副署を拒む

張勳氏は目下天津獨逸租界の自邸にあり邸には自動車六臺を備へ外出の際は衛兵自動車に鈴生りとなりて隨行し居れり氏は入津後連夜宴を張り其の驕奢は宛然國王たるの觀あり而して十日の如きは張勳氏の兵二千豐臺に到着列車內に宿泊したるが同停車場は兵士もて全く占領の姿なり氏は依然黎總統に國會解散を迫り居れるが王士珍江朝宗氏等は既に天津派に內應し若し張勳氏の要求にして容れられざらんか京津に兵亂起らんも保せずと脅かし總統は今や孤立の狀態にあり而して民黨は寧ろ黎總統をして國會解散の命令を下す前に退職せしめんと努め居れるも天津側は之れを妨害し黎派は今や板挾みの姿にあり尙李經羲氏は天津派の內訌に乘じ從來の態度を一變し自ら政權を掌握せんと熱心に狂奔中なるが其の背後には米國ありとの噂高し而して總統は終に國會解散に決したるも同命令は伍廷芳氏副署を肯ぜざる爲め未だ發布されず伍氏の子息伍朝樞氏は父に副署せざる樣勸告し李氏は王士珍氏をして強硬に副署を迫らしめ居れるが民黨議員は目下總統府に赴きて阻止中なり(北京特電)

▲終に張勳の提議を容る
國會は解散の名義を避く

黎總統は張勳氏の提議を容るゝ事に決し十一日命令を出す可し但し國會は解散の名義を避け改選とする筈なり(北京特電)

▲程提督等の總統擁護

程璧光、薩鎭冰兩提督を始め海軍全部は黎總統に對し忠實渝らざる旨を具申せり又廣東、廣西、貴州三省よりも黎總統及び國會を擁護し軍隊は緩急の場合何時にても起たん決意ある旨を電報せり察するに張勳氏が北京に入るの條件として申入れたるは唯國會解散の一事のみなるが如し(北京特電)

▲民黨議員と根本問題

在天津民黨議員は議會解散總統退職は問題に非ず要は根本問題解決に在りとの大決心の下に續々南方に歸りつゝあり(北京特電)

▲張勳、李氏總理希望

張勳氏は李經羲氏の總理たらんことを望み居れるが研究派は李氏の總理に反對し居れり(北京特電)

▲總統民黨側態度監視

張勳氏は部下を北京に派し密かに黎總統及び民黨側の態度を監視し居るもの丶如し(北京特電)

◎對支問題要件か

本野外相は十一日午前九時上原參謀總長は同十時孰れも永田町の官邸に寺內首相を訪問し聽て外相、參謀總長は相前後して目白なる椿山莊に山縣元帥を訪ひ時局に關して會談する所ありたるが右は多分支那問題に關するものならんと推せらる(東京特電)

◎米大使の次官訪問

米國の對支警告に就き十一日午前十一時米國代理大使ホイラー氏は外務省に幣原次官を訪問し米國の對支警告に關し一時間餘に亙り會談する所ありたり(東京特電)

◎豫算內示確定
十六日首相官邸にて

政府は特別議會に提出す可き追加豫算案に關し愈々來る十六日永田町首相官邸に於て豫算內示會を開く事に確定し貴族院は午前十一時衆議院は午後五時より各派代表者を招待寺內首相以下出席勝田藏相より詳細に豫算內容を說明す可しと(東京特電)

◎坂田公使赴任

新任西班牙國駐剳公使坂田重次郎氏は十一日午前八時三十分東京驛發列車にて赴任の途に上りたり公使は途中京都大阪及び九州に立寄り十九日下關發二十日釜山より西比利亞經由赴任すべし(東京特電)

◎辭令

豫て老齡の故を以て辭表提出中なりし東京女子高等師範學校長中川謙二郎氏は十一日依願免官となり後任として左の通り任命ありたり(東京特電)

從四位勳三等 東京音樂學校長 湯川元一
任東京女子高等師範學校長(二等)
從五位勳六等 文部省督學官 茨木淸次郎
任東京音樂學校長(三等)

◎曹達會社計畫
都督府滿鐵出資

關東都督府白仁民政長官は豐富なる關東州製鹽より曹達を製造し以て工業界に於ける無限の需要に應せん事を計畫せるが過般海水より直接の曹達製造法を案出し都督府及び滿鐵會社より五百萬圓宛計一千萬圓の出資を得て之れを開始する事となれり此の製造法は最も斬新なる發明にて之れに據る時は僅に一圓四、五十錢の安價を以て一噸の曹達を製造し得べく然かも該製品は內地に於て一噸三十六圓にて引受くるの協定略ぼ成り非常に利益ある計畫なり海水は雙島灣のものを最適とする由にて其工場の重なる機關は旅順に設置さる可く業務擔當員は都督府在勤法學士今井俊彥氏に確定せるが詳細の內容は遠からず發表さる可し(大連)

◎優良稻の成績

大正五年に於ける稻優良品種の普及狀況並に其の栽培成績を調査するに作付反別は水稻四十五萬八百三十八町九反歩卽ち水稻總作付反別の三割九分四厘陸稻二千二百八町七反歩卽ち陸稻總作付反別の一割五分三厘にして收穫高は水稻六百四萬八千六百四十九石卽ち水稻總收穫高の四割八分七厘陸稻一萬九千六百八十七石卽ち陸稻總收穫高の一割九分を示し之を前年の稻優良品種作付反別及び收穫高に比すれば作付反別に於て水稻十五萬五千六百七十九町一反歩陸稻八萬六千町五反歩收穫高に於て水稻二百十八萬二百二十六石陸稻七千三百七十七石を增加せり而して其の一反歩當り收穫高は何れも在來種に比し著しく多量にして成績極めて良好なり今稻優良品種普及狀況累計比較稻優良品種栽培成績累年比較を示せば左の如し

年次	水稻 優良品種作付反別(町)	水稻 同上收穫高(石)	陸稻 優良品種作付反別(町)	陸稻 同上收穫高(石)
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同 二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同 三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同 四年	二九五、一五九、八	三、八六八、四三三	[illegible]	[illegible]
同 五年	四五〇、八三八、九	六、〇四八、六四九	二、二〇八、七	一九、六八七

◎紡織工場請願

紡織會社設立に就き木浦の發起人側は數次當局上司に請願する處ありたるが未だ全市民として其の希望を表明したることなきを以て曩に成立したる工場設置期成會以外、別に全市內鮮人の重なるもの連署して工場設置の緊要なる所以を縷述したる請願書を長谷川總督に提出する事となり目下其の調印中なりと(木浦)

◎北滿鹽價昂騰

北滿地方に消費せらるゝ支那鹽は從來浦港及び長春より輸入せられしが歐戰の今日浦港の運輸機關停止し長春よりの輸送も亦太だ困難となりし爲め現物は空しく長春驛に堆積せるの現狀なるより昨今北滿各地の鹽價は頗る騰貴せり(長春)

◎對露禁輸擴張

浦鹽を經由する個人貨物の輸入禁止法は滿洲の商品にも亦同じく通過貨物として之れを適用する事となり東淸鐵道廳より之れが通告を發せり(長春)

◎露貨暴落と咸北

咸北道內に流通する貨幣は朝鮮銀行券大部分を占め稀に日本銀行券を見るのみ又た國境方面より海岸地方の部落に至りては或は輸出貿易の爲め若くは露領出稼人の攜帶金に因りて露貨の流入する事夥だしく爲めに然れ共近來露貨低落及び其價格不定なるが爲に著しく其信用を失墜し從つて各人之を受授する事を嫌忌するの結果今や露貨取引は已むを得ざる場合の外之なく避くるもの比々皆然り又其の所持者は一時貯藏して他日の騰貴を待つもの少なからず露貨驅逐に關しては道內各金融機關をして引上交換に努めしめたる結果既往六箇年間に於て百廿二萬留を交換し併合以後の分を合すれば約二百萬留に達せり而して露貨下落以來殊に其排除に努めしむると共に帝國兌換券の流通を促進せしめつゝあり(鏡城)

大阪より

▲銀行增資と保證

近來各銀行の增資頻りに行はれつゝあるは我經濟界膨脹の趨勢に隨伴せる事勿論なるが一方銀行の主要業務たる預金と貸出との間の利鞘收得は近時益々稍縮少せらるゝの傾きあるを以て寧ろ此際長期の固定的放資によりて健實有望なる利潤を獲得せんとするにあるもの丶如く、斯くの如き長期資金調達の方法としては資本金の增額に倚るを以て最も完全なりとするにあるべし而してこは近來盛んに提唱されつゝある工業金融問題の解決に資する所多く我銀行進步の一階梯として喜ぶべき現象ならん、されど銀行將來の配當を保障されたるものは銀行の增資に際し一個人により且つ株式銀行自立の精神を全く沒却し株式組織の主旨に反して個人の庇護を以て萬全となす變則的現象たるのみならずこれ一方に株式組織に對しても大資本家たる大株主は將來に絕對無上の權威を確保せることを裏書するものなりとして非難するもの多し銀行が一定の利益を保證するは臺灣銀行信託扱金の六分以上の保證に初り住友銀行の八分保證あり山口銀行株の六分保證を傳ふるあり近時銀行增資の新傾向として注目するに足る可しと雖も如上の非難あるのみならず配當金の保證を以てプレミアムを獲得するにありとすれば公募株數少に過ぎ積立金を減じて配當を增加するにありとすれば增資後に於て反て積立金を增加して銀行の健實を企圖す可き眞面目なる本來の主旨に悖り若又增資後に於て銀行の利益金が急激に二三歩方增加すべきものとすれば從來の銀行業務擔當者に怠慢の責あるを立證するものと云ふ

◎國費苗圃事業

京畿道國費經營樹苗圃事業實行狀況を見るに樹種アカマツ、クロマツ、ニセアカシヤ、ヤマハンノキ、クヌギ、ハンノキ、カラマツ、アカマツ白楊樹類其他の數種にして施業床面積一萬六千六百十六坪にして施業數十五石七斗九升播十二萬七千本苗二百十萬[illegible]

◎國會處分と張氏態度

天津來電に依れば張勳氏は國會處分の確定する迄は黎總統の催促來るも絕對に要求に應せざる可しと觀測され居れり(北京特電)

◎英軍獨戰線突破

倫敦來電=英軍は九日夜スーシエ河南方を攻擊し獨軍戰線を突破する事長さ一哩以上深さ半哩に及べり(紐育電報)

◎帝室技藝委員

十一日帝室技藝委員に左の十一氏任命せられたり(東京特電)
▲寺崎廣業▲小堀鞆音▲川合玉堂▲山元春擧▲下村觀山▲富岡鐵齋(以上畫家)▲新海竹太郎(彫刻)▲伊東陶山(陶器)▲平田宗幸(鍛冶)以上の外建築に一名陶器に一名あるも電文不明

◎筑紫中將歸期

支那視察中なりし筑紫兵器局長は十一日郵船西京丸にて門司着十二日八幡製鐵所及び山口縣厚狹火藥製造所を視察したる上歸京の途に就く筈なり(門司特電)

▲鑛山師と朝鮮

朝鮮の鑛山熱勃興につれ山師連の盛んに山野を漁り廻りて種々の礦石を發見しつゝある由なるが此程去る山師朝鮮にてピッチブレンド(ラジユム原鑛)に似たる黑き石を發見し遙々大阪市立衛生試驗所に擔ぎ込み試驗を乞ひたるが其の結果はラジウムの反應なく大いに落膽したなどの笑話もあり

▲日本棉花總會

日本棉花會社は去る五日の總會にて年三割の配當案を可決し勇退の社長志方勢七氏の後を襲ひ喜多又藏氏社長に山田穆氏常務に監查役末吉勘四郎氏は取締役に竹尾治右衛門氏は監查役となれり尙大連木浦に各支店設置の件を可決せり(大阪支局)

◎憲兵副官會議

憲兵隊司令部にては各道憲兵隊本部附副官を司令部に召集し來る十二日より十五日迄四日間每日午前八時三十分より副官會議開催の筈なるが各副官は十日夜全部入京し十一日朝司令部に出頭挨拶をなせり會議日程左の如し

日	午前	午後
十二日	訓示諮問 質疑事項	意見質疑事項
十三日	諮問事項	諮問事項
十四日	注意事項	事務打合
十五日	事務打合	事務打合

◎有資格者の減少

今期京城學校組合議員選擧有資格者數と前回卽ち大正三年居留民團議員選擧有資格者數とを比較するに今期に於て一千七百八十八の減少を見たり卽ち前回に於ける有資格者數七千五百八十八に對する今回の有資格者數五千八百にして此減少を示せるは强ち直接有權者人口の減少を意味するものに非ずして居留民團時代に比し其の有資格者標準の高まりし結果なりとす蓋し今期學校組合が府內日本人子弟の教育事業にのみ干與し其の組合費一年以上引續き五圓以上を納むるものを以て有資格者とするに反し居留民團が自治機關として一年以上引續き京城居留民團稅(卽ち民團に於ける土地稅營業稅雜種稅其他を包含するもの)年額五圓以上を納むるものを以つて選擧權被選擧權を具備するものと爲せる結果たるなりと當局は語れり

◎商銀定期總會期

朝鮮商業銀行にては來る七月中旬を以て定期總會を開き本年度の營業成績を報告し且つ營業振興に關する種々の會議を開くべしと

人事消息

▲オット氏 長春直行 東淸鐵道技師オット氏は十日朝南大門通過長春に直行したり
▲撫波忠三郎男(工學博士)▲今村新吉(醫學博士)▲乾政彥氏(法學博士)十一日夜退京
▲松長剛氏(三井物產社員) 十一日夜入京天津へ

露言北話

露國の容體は却々危篤になつた樣である▲イワノフ、ケレンスキーなどの露國第一流の名國手が對診して在ゆる秘密を盡して居るが何うも思はしくない▲コノコロフ國手などは遂に匙を投げて逃げ出した▲何分戰爭最中に此の容體だから親族の心配は一と通りや二た通りぢやない▲佛國からはトーマ氏、英國からはヘンダーソン氏と其れ〴〵然るべき名醫を送り▲米國のルート國手も露都に到着して今頃は脈を調べて居る筈だ▲果して何う云ふ診察が出來るのか何れも唾を呑んで見て居る▲米國の某新聞などはルーズヴエルド氏と其の募兵を送つて露國の士氣を鼓舞さするに限るなど云つて居る▲イヤ實際容體が次第に善くなればよいが今の處ではナアほんとに心配だよ▲或る所での茶のみ會の時大隈侯の多辯が話頭に上つた▲一體隈侯は自分の話し最中には誰が何と云はうが一向振返りもせぬ▲其處で要事のある時には非常に困るが此の頃其の多辯を中止さする事を發明した人がある▲其れは斯う云ふ場合にはソツと耳元へ口を持つて行つてウニヤ〳〵に限るさうな此の發明者は市島謙吉君だから先づ間違はあるまい▲一體政黨の首領などは世界の思潮や文藝には全く風馬牛である樣だが原政友會總裁と來たら特に甚しいらしい▲嘗て三土忠造君がマグダの譯本を讀んで居ると▲原總裁がやつて來て『マグダとは一體何だい、西洋の政治家の本かね』には三土君も恐れ入つた相な

大連より啓上
六月五日 特置員

取引一層盛大と相成り今春より最近に至る迄毎日平均二百萬圓以上の取引有之候……[illegible]……置に據り漸く當業者共を說伏して一蹴め……[illegible]……之候、斯くて錢鈔信託は六月一日より開業致し日々二百萬圓以上の取引にて表面は素晴しき人氣に御座候……[illegible]……

第四拾九期決算公告
貸借對照表 自大正五年十月一日 至大正六年三月卅一日

(資產之部) 借方
買附委託品 / 買附委託主 / 買入委託先 / 請取手形 / 銀行預金 / 假出金 / 信認金 / 工場用品 / 工場原料品及仕掛物 / 未經過水災保險料 / 支店未精算 / 拂込未濟株金 / 地所 / 建物 / 機械 / 什器 / 有價證券 / 手許有高 / 合計 [amounts illegible]

(負債之部) 貸方
未濟諸貸 / 引受手形 / 支拂手形 / 假受金 / 社員保信積立金 / 株式配當準備積立金 / 別段積立金 / 準備積立金 / 配當準備積立金 / 退職社員慰勞積立金 / 未濟配當金 / 前期繰越金 / 當期利益金 / 合計 [amounts illegible]

一金壹百七萬五千七百五拾五圓四拾錢 當期利益金
內 金貳拾萬圓 準備積立金 金拾五萬圓 別段積立金 金拾五萬圓 配當準備積立金 金七萬五千圓 役員賞與金
小計金五拾五萬七千圓 差引金五拾萬〇七百五拾五圓四拾錢 外ニ金拾九萬六千九百八拾五圓四拾參錢 前期繰越金 合計金六拾九萬七千七百四拾圓 後期繰越金

內
金貳拾四萬七千五百圓(年一割五分)配當金
金四圓五拾錢宛 舊一株ニ付
金壹圓拾貳錢五厘宛 新一株ニ付
金參萬七千圓(年一割二分)臨時特別配當金
金七拾五錢宛 舊一株ニ付
金 新一株ニ付
金貳拾八萬五千貳百四拾圓四拾參錢 後期繰越金

右之通ニ御座候也
大正六年五月二十一日
日本綿花株式會社
取締役社長 喜多又藏
取締役副社長 山田穆
常務取締役 馬場義興
取締役 南郷三郎
監查役 末吉勘四郎
同 [illegible]
前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナル事ヲ承認候也
五日株主總會ヲ開キ重役滿期改選ノ結果取締役五名監查役二名左ノ通リ當選仕候
取締役社長 喜多又藏
常務取締役 山田穆
取締役 末吉勘四郎
同 馬場義興
同 大岡破挫魔
監查役 南郷三郎
同 竹尾治右衛門
相談役 志方勢七

醇良清酒
仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三五〇番 京城日報社代理部

松田式ポンプ
灌漑用 家庭用
ポンプ

御申越次第目錄送呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番二七七四番 振替京城二五六番

松丸太各種荷揃 龍山印刷局前 竹村材木店 (電話五二二番)

京日案內
普通 三行一回金十錢 番外 一回金
▲申込後中途解約中止の節は前金返戻せず ▲六期以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料御同封あらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入をこふ

代診一名技工一名至急入用希望者面談 長谷川町 シメノウチ齒科醫院 127

安全第一の古本賣買 新古樂器販賣修繕 と 店 ウツボヤ 電二五二七 124

信用貸金大口底利迅速秘貸出市內担保貨取扱來店又參上 黃金町一ノ一九三 朝鮮ホテル左金谷園橫 拍屋

牛乳配達人募集 但三名年齡十六七歲より二十歲まで 京城旭町 平山牧場牛乳販賣部 129

建築金物土工具 京城本町一丁目 電一六三 振替二一二〇 佐野彥商店

臨時雇採用 身體強健の軍人出身者年齡卅歲迄希望者は本人來談あれ 京城日の出町 志岐組 131

▲機械取扱に多少の經驗ある者工場監督として至急採用希望者は履歷書送れ保證人を要す ▲京義線新安州 福井黑鉛製鍊所 130

給仕募集 高等小學校卒業程度の者履歷書携帶本人來談あれ 黃金町二丁目(電話一三五六)有鄰生命朝鮮支部 132

電話讓受たし 京城大平町二の二二六 926

電話二一八二二三番へ

新古ミシン賣買 並に修繕 京城鍾路二丁目 公園近 電二三三八 針油部分品販賣 楠商店 78

礦物定量分析 朝鮮公論社 太平町二丁目 左橫小路 電話長一三四四 坂元分析所 112

舞子より名古屋へ
晴れ行く繪の如き朝景色に名殘を惜み給ひて＝李王殿下御出發

李王殿下舞子御一泊の十日の夜は深雨名殘なく霽れて瀨戶內海一番の島山には霧深く立ち罩め二十二日の月は薄絹を被ぎたるが如く白砂青松の景色を越ねて

◆淡路島漁村の燈火　點々螢火に似たり折しも打ち揚ぐる烟火は紅、紫、青白、あねかに美しき火光を天空に點じ宛然夢の境にあるが如し殿下には近侍の人々を御側近く召され御感興殊に深き御樣子にて松籟濤聲に夜の更くるを覺ら給はず十時頃漸く御寢に就かれたり十一日は早朝より御起床遊ばされ

◆ほの〴〵と晴れ行く　朝景色をあかず眺め給ひけるが軈て朝鮮料理の朝食御喫餐の上隨員扈從自動車に召して停車場に御到著遊ばさるれば忽ち起る儀仗兵の嚠喨たる喇叭の音に頻りに打揚ぐる

◆煙花の音相和して　壯觀極りなし殿下には同驛運輸課長の御先導にて長谷川總督以下御同車御機嫌麗はしく九時三十分名古屋に向け御發車遊ばされたり（於舞子中谷特派員發電）

絕えて久しき御對顏
見紛ふ許りなる王世子の御成人を悅ばせ給ふ＝李王殿下名古屋御著

十一日午前九時三十分舞子を發車したる李王殿下には長途御疲勞の色もなく沿道各驛の盛んなる

◆奉送迎を受けられつゝ　午後三時二十五分名古屋驛に御著相成りたり著車と同時に第三師團の發する二十一發の皇禮砲は殷々として天に轟き儀仗兵の吹奏する君が代の樂は嚠喨として一齊に起る折柄東京より御出迎の爲御來泊中なりし李王世子殿下には列車の停車すると共に

◆車中に入らせらる　絕えて久しき御對顏に李王殿下には世子殿下の見まがふ許りなる御成人を悅ばれ世子殿下も亦いと御懷し氣に御安著の御挨拶を述べられ打ち連れて御下車プラットホームに於て大庭師團長以下に會釋を賜ひ同驛運輸課長の先導にて

◆構內を出でさせられ　自動車に搭乘隨員亦十餘臺の自動車に分乘し諸列軍隊及び堵の如き奉迎者の中を過ぎ同四十分名古屋離宮に入らせられたり（於名古屋特派員中谷青發電）

宮島の風景に
憧憬あらせられつ　屢々電報にて旅情を李太王殿下へ

李王殿下十日下關御發車後は窓外沿道の目新らしき母國の風物さては秀麗なる山姿水態にいたく感興を覺へられ殊に宮島には深き御憧憬ありしものと思しく三田尻を過ぐる頃より『宮島は未だか〳〵』と御下問あり又同驛御通過の際潛艇航を御覽ありて其の說明を聞し召され母國文化の進步に感嘆措く能はざる模樣なりし尚殿下には屢々李太王殿下に電報を以て旅情を御通信ありしが列車岡山を過ぐる頃李太王殿下より鄭重なる御悅びの返電ありし由（於舞子特派員中谷青發電）

爰二三日中には甘露の雨か？
◇◇◇滿洲の北部に低氣壓が現はれた◇◇◇

雨がない、雨がない、今年は天道樣が調子を狂はせて一向雨を降らさぬのは什麼したとか

♣農家は頃日　麥が熟れて大切な苗代時なのに待てど甘露の一滴さへふらぬ、十一日の午後二時過ぎには入梅の申譯けかパラ〳〵と降つた、併し天氣は相變らずカラン〳〵と晴れて行く氣配、これでは全く助からぬ

♣京城測候所　のはなしによると內地の梅雨期は朝鮮にとつては必ずしもあてにならぬ、但し十一日の觀測では最近二三日うちには降りさうな樣子がある、それは只今滿洲の北部に稍深い低氣壓が現はれ

♣又渤海灣の　東部にも現れむとする模樣がある、それで此の氣壓の配置から云へば近く甘露の雨が來さうに思はれるとのこと、元來今年の雨の少ないとは近來稀れな現象であつて現に五月中の雨量の如きも

♣昨年の同月　の三分の一にしか當らぬ始末、本月は今日までのところ更に少ない樣子である、これと同じやうな年は去る四十三年の今頃であつたが何とかして早く降つて吳れんと農家は乾干になり切だ

三機雁行
各務原に向ふ

所澤各務原間陸軍大飛行は十一日決行零時三十分松岡中尉のモ式第三十四號機先頭に瀧川中尉の同第三十五號渡邊中尉の第三十九號機は相雁行して各務原に向ひ同三時三十分三機相前後して靜岡を通過せり（東京特電）

赤星家藏品入札
素晴らしき景況

赤星家の藏品は十一日愈々江東美術倶樂部に於て入札に附せらるゝ事となりたるが朝來同倶樂部に集まりし人々は千を以て數へ開札前より素晴らしい景況にて各札元を始め骨董商道具商の白兵戰凄じく午後三時を過ぐるも未だ開札せられず總揚高三百萬圓は確かなりと傳らる全部終了するは夜半一、二時頃なるべし（東京特電）

憲兵を殺傷せし兇賊捕はる
變裝憲兵の活動

平北中江鎭憲兵分隊長城出張所に大正四年八月初め支那人賊徒の一團が襲來したるより憲兵上等兵山田乾一郞及び補助員等勇敢に應戰せしも衆寡敵せず遂に山田上等兵外三名は殺傷せられて出張所は全滅の悲運に陷りたるが賊は其後巧みに逃亡し爾來犯人嚴探中五月十九日前記賊の一頭目なる支那臨江縣八道溝生れ住所不定の姜鳳元（四〇）が食鹽買出しの爲め鴨綠江の對岸附近に出で來れるを探知したる出張所にては密偵を派して阿片密賣者の如く裝はしめ巧みに鳳元を長洞に誘致し渡舟より上陸したる所を鮮服に變裝したる出張所長の鈴木伍長及び河野上等兵の二名が假に逮捕せんとしたるに不敵なる賊は携へたる棍棒を以て激しく抵抗し剛氣兵共散々の打撲傷を受けしが難なく取押へ取調べの結果罪狀を自白するに至れりと

熱油を耳に注ぐ

慶北達城郡月背面大泉洞日稼益三事朴大根（三九）は同里洪性三（三二）妾金滿順（二九）と本年三月以降怪しき仲になりし結果洪性三を亡き者にせんと共謀し大根より教唆されて滿順は六月三日夜性三の就寢中煮ね油を耳に注入せんとしたる際熱さの爲め驚きて飛び起きたる性三に取押へられたる爲め目的を遂せざりしが兩名は目下大邱署にて取調べ中

頭蓋骨を碎く

春川郡北山外一作面消平里金化成（四〇）は九午前十時三十分目下工事中の春川市區改正工事道路夫役として大板里前地の土砂を屈鑿中岩石崩壞して頭蓋骨を粉碎され即死を遂げたるが死體は檢死の上自宅へ引渡さる

◇須磨子一行乘込（向て右）松井須磨子（左）島村抱月氏（十一日夜南大門驛にて）

須磨子一行乘込

藝術座松井須磨子一行は既報の如く十一日午後七時三十分南大門驛著列車にて安東縣より入京巴城館に投宿したるが停車場には華なしき出迎へありたり

自轉車で遊興

松山市湊町一丁目生れ蕎麥料理人今村正雄（三七）は五月二十九日午後九時頃京城本町一丁目田中某所有の自轉車一臺（六十八圓）を窃取し黃金町四丁目朴達隨をして二十圓に入質せしめ兩名に

小兒の溺死

春川郡府內面大板里牛肉商鄭龍睦の二男鄭文學（一）は九日午後二時頃自宅附近の古井戶に落ち溺死せしを二時間後發見せり（春川）

列車に投石

京義線の南行列車第六十六號が三日午後七時三十七分黃海道平山郡寶山面南川里の踏切りを進行中列車に投石したるものあり三等客車二十七號室の窓硝子一枚を破損したるも幸ひ乘客には異狀なかりしが南川警察署に於て犯人搜索中平山郡外邑面稷下里居住の農金東植（一三）が附近の土壘上に投石したるものが命中したるものと分り同人は南川署にて科料金十五圓に即決されたり

新劇は斯くして振興せん
島村抱月氏談

島村抱月氏及び松井須磨子一行の藝術座男女俳優二十一名は十一日午後七時三十分南大門著列車にて入京せり途中まで出迎への記者に向ひ氏は劇界の近狀に就て語つて曰く

我國の新劇が何故に遲々として進步せざるやは吾れ、人共に

▽大いに考へ　なければならぬ問題である私は思ふに現今の劇界の進步は何うしても更に脚本の立派なものが作り出されなければ何時までも今日の狀態を脫する事は難かしからうと思ふ、現在の脚本作家は何んと云つてもまだ若く書くものは立派でもそれは要するに卓上劇であつて舞臺に上せて

▽群衆に觀覽　せしむべきものではない小說と同じやうに讀まれる劇である然り現在我國の新劇は何れも著しく民衆と懸け離れて居る即さカムメルシユピールである百人二百人の或る智識階級の者を集めて演じるには好いが千二千といふ群衆を大劇場に集めて觀覽せしめるには何れも不適當のものである之等は確かに

▽我國の新劇　の發達を阻害する最大原因である劇は決して一部の階級者が智慧を絞つて見るべきものではない或る特種の劇を除くの外矢張民衆に理解され又其生活と深き交涉を持つて居るものでなければならぬ我國の新らしい脚本には此の點が缺けて居る是非共將來に天才的作家の出現を俟たなければならぬ

近來東京は

▽歌舞伎全盛　時代であつて三四年來漸く發達しかけたる新劇の氣勢を壓して居る、或る人の如きは日本はどうしても歌舞伎劇でなければならぬ新劇は近き將來に到底發達の見込みは無いと悲觀說を爲す者もあるが必ずしも然うばかりではない現今歌舞伎劇の全盛を極めて居る大なる原因は

▽戰爭の影響　を受け金融潤澤にして贅澤なる觀劇者の增加したると下級社會の收入の裕になりたるが主なる原因を爲して居る併し將來は歌舞伎劇の如きは一種の贅澤なる劇として保存され別に吾々の生活に缺ぐべからざる眞の劇が生れて來なければならぬと思ふ、それには前にも云つた如く新劇が對民衆的でなければならぬ事と更に

▽一般の興味　を滿たるべき壯大と深刻とを持つて居らなければならぬ此の要求を滿たしたる脚本が作らるれば其處に始めて我國の新劇も小演劇の區域を脫してフエストシユピール即ち民衆を相手とする大演劇の境地に入るのである現今我國の新劇界も漸く翻譯劇本位から脫して吾々の歷史や

▽民情を描寫　した『己れの劇』に重きを置く事となつた翻譯劇は何れの國にもあり又必要である從來の如く臺白の一言一句原作に忠實に譯したやうなものでなく原作の骨を存してそれに吾が持てる肉を付けて行くといふ風になつた此の邊にも確かに民族劇の新らしく發達せんとする曙光は見はれて居る

釜山初日取組

釜山埋立大倉町空地に於て興行する東京大角力十六日初日の取組は左の如し因に該一行は十五日入港の連絡船にて來釜すべしと（釜山）

初日取組
龍ケ瀧　宗戶崎　曾根松　友の山
友渡　岩戶潟　大刀嵐　筑後川
當見崎　矢筈山　清瀨川　荒玉
高瀨川　若島　數島　伊勢濱
太刀山　紅葉川

登錄商標　金牌受領　本舖大阪三宅堂
本椿香油　本椿ポマード
男女頭髮用
毛を黑く柔げつやを出し
好評を博せる本椿を以て謹製せり
赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙也

髮をしなやかに　丈長がく　美しく房々と　漆のやうに　黑くするは
廣い世界に　―タッタ一つ―
パール煉香油　があるばかり
……とはパール愛用者がおつしやる賞詞であります

本舖東京　平尾銑也商店
關西代理店大阪　平尾贊平支店

株金拂込公告
第一回株金拂込ノ儀左ノ通相定候間御拂込被下度候
一、拂込金額　一株ニ付金拾貳圓五拾錢（證據金二圓五十錢通算）
一、拂込期間　自大正六年六月十一日　至同年同月二十日

拂込取扱所
東京市　日本興業銀行
同　株式會社第一銀行
同　株式會社三井銀行
同　三菱合資會社銀行部
同　株式會社安田銀行
同　株式會社[illegible]銀行
同　合名會社中井銀行
大阪市　株式會社住友銀行
同　株式會社三十四銀行
同　株式會社第一銀行大阪支店
同　株式會社三井銀行大阪支店
名古屋市　株式會社第一銀行名古屋支店
同　株式會社三井銀行名古屋支店
下關　株式會社第一銀行下關支店
門司　株式會社三井銀行門司支店
京城　朝鮮銀行
同　株式會社漢城銀行
平壤　朝鮮銀行平壤支店
同　株式會社漢城銀行平壤支店
臺北　臺灣銀行
○東京市日本橋區蠣殼町三ノ二二　朝鮮製糖株式會社創立事務所

大正六年六月
朝鮮製糖株式會社
創立委員長　藤山雷太

新案車附（バリカン）

◎新案車附の三大特長
一、器械が自然に滑つて行くから刈込が非常に早く出來て心地が好い
二、どんな素人の方にも旨く使へる
三、値段が割合に安くて堅牢だ
尚今回御注文の方には景品としてサック入の頗る便利な攜帶用安全剃刀一ケを無代進呈す
定價金一圓五十錢　郵稅內地八錢　領土卅錢
東京市神田區東福田町
振替東京三六七〇四番
昇本堂

移轉廣告
今般弊院儀醫務擴張の爲め左記の處に移轉仕候
京城府明治町二丁目三十二番地（元朝鮮實業會社支店跡）
須古醫院　電話二一〇二番

藝術座一行來る
松井須磨子出演
當る六月十三日より十九日迄（一週間）
初二日間藝題
中村吉藏作　喜劇　新歸朝者　一幕
同人作　悲喜劇　お葉　三幕
所作事　三面子守　一幕
後玉兎
入場料
特等　一圓卅錢
一等　一圓
二等　七十錢
三等　卅錢
毎日午後正六時開演
京城　壽座

恩給
年金最大長期至極低利を以て即時現金立替にて利子全部後引契約短期無保險です
西鮮代理店京義線沙里院　廣川商店
京城南大門外（舊）御成町　山口屋

花筐(はながたみ) (二三)

松田竹の島人作

京子は、吾が名を呼ばれて、振返つて見ると、セルの單衣に白縮緬の兵子帯を締め、大島紬の給羽織を著た田淵剛が、庭下駄を穿いて立つてゐた。

『オヤ田淵さん、何時往らしたのですか？』

『今來ました。今日は日曜ですから蒼蠅い東京にゐるよりも、湘南の山水に親んで、頭腦を休めたかつたのと、貴女の御顔を拜見したかつたもんですから遣つて來ました。』

『よくこそ往らつして下さいましたわ。』と京子は宛も嬉しさうに言ふ。

京子の今の境涯では、唯力と頼むのは田淵であつたから、其顔を見ると、忽ち活々として、今までの心の悩みは、夢のやうに消ねて了つた。

『來て見ると、貴女が居らつしやらないでせう、老婆に訊くと、庭口から御出に爲つたといふことですから僕も直ぐ庭口から出て來たのです』

『此處まで往らつしたのを、少しも存じませんでしたわ。眞個に失禮を致しましたわねえ』

田淵は海を瞶めながら、

『今日は波濤が些とも立ちませんねえ』

『眞個に穏でございますわ』

『波瀾のある方が、變化があつて面白いぢやありませんか？』

『妾は波濤が立つと、何んだか氣味が惡るうございますわ』

『活地がないですねえ。世の中の波瀾を切り抜けて往くから、生活が面白いのですが、海も何且然うですねえ』

田淵は狡黠で、平地に波瀾を起す底の人物であつたから、言ふことにもそれが露はれてゐた。

『そりや然うですけれど、妾は何んでも平穏無事の方が可いと思ひますわ。』

『だつて今の貴女の境涯は、市野家に波瀾を起さして居らつしやるぢやありませんか。』

『そりや貴方の御術めでしたからですわ。』と京子は打ち沈んで、首を俯垂れたが、白い襟足は、黒い頭髪と寫りがよく、雨に濡れた海棠ともいふやうに艶治であつた。

田淵は、其美しい横顔を凝乎と見て、

『然う仰ると、何んだか僕が、貴方を教唆したやうに當りますねえ。僕は貴女に御同情したのと、市野家の家庭の圓滿ならんことを希望して御術めしたのですが、好意が却て仇と爲つたやうな傾きがありますねえ。』

『妾は其麼意りで申上げたのではございませんから、惡意に御解釋に爲つては困りますわ。』

『最う這麼噺は中止ませう。ひよつとして、御互に誤解があると不可ませんからねえ。』

『妾は、貴方の御親切を有難がつてこそ居ますが、決して誤解なんかありませんわ。』

『無論然うでなけりや、私の立場として困りますからねえ。』と田淵は、皆親と京子の顔を見る。

遂近くの別莊の庭には、棚に絡んだ藤が、今を盛りと咲き誇つて、房々とした其紫の花が垂下してゐた。

京子は、首を擡げた刹那、此藤の花が目に着いた。

『田淵さん、ちよいと御覧遊ばせ、藤の花が何んて綺麗でせう。』

田淵は、藤の花へ視線を移して、

『成程綺麗ですねえ。』

『ねえ田淵さん、丁度妾の今の身體は、彼藤のやうなものですわねえ。』

『何故ですか？』

『でせう、大事に、棚に絡み付いて活きてるんですからねえ。丁度貴方が彼の棚で、棚がないと爲ると、藤は枯れて了ひますわねえ。』

言ひ過ぎて、田淵の心持を惡くさせは爲なかつたかと氣遣つた京子は、藤の花に由つて、其歡心を覓めやうとした。

一日一句

落花よけて踏む裏庭の狭さよ　黄丘
薄著になりたいがまだ寒い春雨　同
雨晴れて花謝して庭の木の芽哉　梅子
山吹や路より低き家の縁　浩一郎
江に立てば春帆遠く霞みけり　雄川
漁砧の人照らす月夜蛙しきりなく　魚竹
犬の餌に集る鶏や春の雨　宗山子
汁鍋に乗馬來てあり蔦若葉　静軒
芽立つ木の下に鵜飼の碪在り　瀬村

新刊紹介

▲新日本(六月號) 總選擧の教訓(大隈侯)新らしき我と新らしき政治(永井柳太郎)選擧權擴張論(今井博士)支那關税問題(神戸正雄)政寺内内閣の運命如何なる題下の政客の觀察等の政論工場主と勞働者の新研究、安部磯雄[illegible](二十八錢東京麹町内幸町一ノ五冨山房)

▲青年(六月號) 政治思想促進意見なる題下の十二名士の説及佐藤博士の政局の現在及將來、副島博士の不信任案は如何にすべきか神戸博士の[illegible](二十一錢東京本郷駒込神明町三三八猶興社)

▲實業之世界(九週年記念の話號) 三宅博士の大富小富、澁澤男の金錢は賤しきものか、岡本米藏の金錢哲學、大木伯の黄金の魅力、早川鐵治の[illegible](廿五錢東京[illegible]實業之世界社)

▲黒潮(六月號) 智識階級に選擧權を與へよ(澤柳博士)農商務省分割不可論(横井博士)[illegible](三十錢東京麹町内幸町太陽通信社)

▲近來狂犬續發に就て一般に議論沸騰し或は犬税を増徴せよと云ひ或は犬族を驅逐せよと云ひ甲論乙駁社上甚だ喧囂である乍併是れも公論でない由來犬の性たる忠實にして義氣に富み能く其主の命令を奉ず故に之を完全に飼育し訓練すれば社會に何等害なし然れ共之を不完全に飼養する時は食物其他の關係より或は狂犬となり或は盗犬となりて害を公衆に及ぼすや大なり其臆的に之を云へば犬は其主に忠なるを知るも他を顧みるの能力を有せず故に訓練宜しきを得ざれば其主に隣佑の田畑を荒し時に他の京闕に屎糞を放射し又は隣童を咬傷し或は他の菓子を盗み魚類を漁る事あり之れが爲め遂に隣佑に惡感を與ふるに至る然るに多くの畜主は畜主と云ふは名のみで食物等訓練を爲さずのみならず時に之を與へず而かも只之を愛すと云ふも他の迷惑を顧みず殆ど近隣の關係となり反目となる犬は愛すべき獸類である然れ共之を愛するが爲め貴重なる人と人との交親を疎隔するが如きは思はざるも甚しきものである此點より考ふれば寧ろ犬は社交上よりするも有害にして無益である果して然らば此道理に考へ及ばざる没道徳なる畜主に對しては月税一圓を課するも強ち酷にはあらざるべし當局者は宜しく速に之を斷行して大族の自然消滅を[illegible]（公平論者）▲[illegible]故障が多く夏は水量が不足するさうだけれど税金には一同だに結氷もない[illegible]水もないのが京城水道ではあるまいか(洞渦生)▲氣候のせいでもあらうが近來は到る所蠅が多く殊に朝鮮人の炊事場附近から飛んで來るのは全く五月蠅くてやり切れない當局で蠅驅除法の督勵を望む(蠅嫌男)▲犬税増徴賛成者に告ぐ諸君は一體何が故に増税を叫ぶのか十圓の重税を課すべしとか現代の社會は税金迄出して[illegible]心の結果に他ならぬ[illegible]靜かに觀じ來れば狂に非ざれば白痴然らざれば犬を恐怖する卑怯ひたいよし一歩かゝる妄論者に據つて狂犬病の豫防と公德を重んずる眞心から云ふたとしても愛犬家の肉を咬ひ血を啜つて増徴を斷行したとてそれが直ちに徘徊する野良犬の自滅する確乎たる原因となり得るか事實は返つて反對の現象を惹起するかも知れぬ目的を達するには方法がある養犬を緊縛し野犬を撲殺すればそれで充分に事は足る但も晴夜に按摩棒を振り回す様な事は好んでしなくとも良い『情荒寥冊枯木』とは全く君等の心中だ僕は犬の愛に溺れたり野犬を奨勵せんが爲めに云ふのでは無い寧ろ君等の如き輕薄な人間に公衆道德の何物たるを解せしめんが爲めである有難く頂戴して服膺すべし(大和魂)

金鵄印 滋養飲料 京城北米倉町 登録商標 玄米精乳 ○粗悪なる模造品あり御用心

ニッポノホン レコード

又々大好評
品質は御安心下さい 鷲印レコードは日蓄の製品です

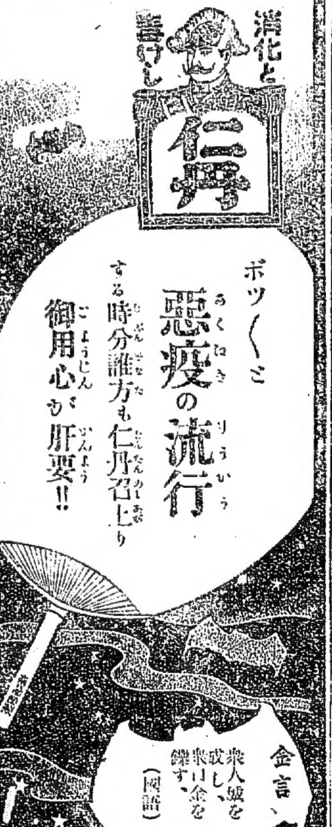
他に類のない六月新音譜

義太夫	清元	尺八 都山流	義太夫	同	同
朝顔日記(宿屋の段)	文屋	若葉	伊賀越	太功記	先代萩
豐竹呂昇	清元喜久太夫 三味線 清元順三郎 鳴物 六合社中	中尾都山 小池玲山	豐竹古靱太夫 鶴澤清六	竹本錣太夫 鶴澤徳太郎	豐竹駒太夫 野澤一弼

賣れる……賣れる 品切とならぬうちお求めを

破天荒の五割引で買へる 定價金一圓五十錢の半値段賣出し

東京銀座 朝鮮京城本町二 株式會社 日本蓄音器商會 電話二八三・振替京城六八四番

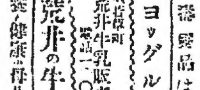
消化と毒けし 仁丹

ボツ〳〵 惡疫の流行 する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!
金言 衆人城を成し、衆口金を鑠す、(國語)

宇佐美内務部長閣下題字 小原農商工部長官閣下序文 京城日報社編纂
府及學校組合法規提要
▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔
内容 勅令、府令、府令、訓令、通牒等苟も府及學校組合に關係ある法規は網羅して漏さず就中從來に發布せる[illegible]最近七月に至るまでの[illegible]收めたるを以て府及學校組合の爲には固より内地人各學校教員、組合議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也
大賣捌元 京城太平通 振替京城三〇三番 京城日報社代理部
装幀 携帯に便ならしめんため製本を洋裝とし紙數は三百餘頁總布天金に改め[illegible]

涼しい風 金鶏香水の 床しいかほり 神身共に爽快

爲香水日本輸入元 花王石鹸西部代理店 大阪 大崎組商會
花王石鹸製造元 爲香水關東代理店 東京 長瀬商會

賞化病院 京城本町二丁目 電話二四〇番
内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏


長壽藥品は「ヨッグルト」 「荒井の牛乳」 滋養・健康・母…
京城若松町 荒井牛乳販賣部 電話一二〇番

大邱浦項間自動車 時間 [illegible]
大塚農場自動車所 大邱出張部 電話一一七番

三波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 會下山丸 六月十二日午後入港 六月十四日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 野口商會 本町四丁目(電話一七三番) 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 六月二十日後五時出帆
○立神丸 七月一日後五時出帆
○山城丸 六月三十日後十時出帆
○清津、浦鹽行 六月十九日後四時出帆
○山西、湖、新浦、城津、清津行 第三平安丸 月 日後六時出帆
○同 宇品、神戸、大阪行 第三平安丸 月 日後六時出帆
○須奈、巖原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日二十一日二十六日(午後十時出帆)
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽(天津)牛莊行 相模丸 六月廿四日正午出帆 高砂丸 七月 日正午出帆 三河丸 六月十三日正午出帆
仁川海岸町 一丁目 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大有丸 六月十七日後四時出帆 ○秀吉丸 六月十九日後四時出帆 ○神代丸 六月廿四日後四時出帆 ○下關、高松行 ○君が代丸 六月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
(外航路所屬航路(臺灣航路を除く)通し切符を以て運賃[illegible])
○門司、神戸、大阪行 △南都丸 六月十三日 ×油頭丸 六月十七日 △南都丸 六月廿六日 後二時出帆
◎木浦、釜山、鎭海、濟州、裡里、群山、浦項、長崎行 安東丸 六月廿五日正午出帆 安東丸 七月十三日後二時出帆
○横濱行 滿州丸 六月十七日 瀋州丸 六月廿三日後二時出帆
◎南浦行 油頭丸 六月十四日 南都丸 六月 日 正午出帆
◎鎭南浦、大連行 安東丸 六月二十日 安東丸 七月八日後二時出帆
◎大連直航 遼州丸 六月十六日 瀋州丸 六月廿二日 正午出帆
◎西湖津、新浦、城津、清津行(元山出帆) 安平丸 六月十六日後十二時出
◎清津行(元山出帆) 須磨丸 六月廿四日後十二時出
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆) 大智丸 六月二十日前六時出帆 北丸 六月廿七日後四時出帆
御注意 [illegible]
大阪商船會社仁川支店 電話一二〇番、五五八番 内國通運會社京城支店 電話七〇八番 仁川京城通り 明月旅館 電話二六一番
切符發賣所

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五三三番
○江原丸 六月廿二日 ○京畿丸 六月廿三日 ○黄海丸 六月十八日 ○咸鏡丸 六月廿八日 門司より釜山各港寄長港基間航路 釜山發
○穩城丸 六月十八日 ○昌平丸 六月 日 ○鏡城丸 六月十四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○昌平丸 長崎寄港長崎行 六月 日 元山發
○敦賀丸 甘浦・九龍浦・浦項・各港寄港鬱陵島行 六月十五日 釜山發
○江陵丸 ○愛陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 長承浦・知世浦・巨文島・濟州島各寄港 六月 日 釜山發
○濟州丸 ○統營丸 各港經由浦木行二日目一回木浦行 ○慶興丸 毎日 釜山發
○平安丸 城津・清津・雄基行 六月十五日 元山發
○順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 三日目每に 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行 六月十六日 木浦發
○慶興丸 多島海・珍島・[illegible] 六月十二日 木浦發
○公州丸 各港經由群山行 六月十七日 木浦發
○麗水丸 ○晉州丸 各港經由木浦行 六月十二日 六月十八日 仁川發
○宗信丸 海州他各港經由鎭南浦行 六月十五日 仁川發
○全南丸 ○陽丸 江華島・喬桐島・海州行 毎日午前 仁川發
京城南大門 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七一番)

大阪株式 後場 寄付 止メ 高値 安値 [illegible]